アーツ前橋　年報No.08　2020年度（令和２年度）

2020年度の主な出来事

2020年 6月 1日　新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による臨時休館から再開
「廣瀬智央　地球はレモンのように青い」開催（〜7月26日）
「糸の記憶 アーツ前橋所蔵作品から」開催（〜10月12日）

10月22日　「場所の記憶　想起する力」開催（〜2021年3月21日）

11月 7日　アーツ前橋作品紛失事案が報道

12月 3日　アーツ前橋作品紛失調査委員会設置

12月12日　「聴く－共鳴する世界」開催（〜2021年3月21日）

2021年 3月24日　アーツ前橋作品紛失調査委員会が調査報告書を発表

3月31日　住友文彦がアーツ前橋館長退任

目　次

2020年度の主な出来事 …… 2

Ⅰ　展覧会 …… 5

廣瀬智央　地球はレモンのように青い …… 6
糸の記憶　アーツ前橋所蔵作品から …… 8
場所の記憶　想起する力 …… 9
聴く ― 共鳴する世界 …… 10

Ⅱ　地域アートプロジェクト …… 13

滞在制作事業　海外アーティスト　概要 …… 14
スタジオ・サポートプログラム　概要 …… 14
ファクトリー・ラン・プロジェクト …… 15
スタジオ・サポート・プログラム …… 16
多文化共生プロジェクト …… 19

Ⅲ　ラーニング …… 21

アーティスト・イン・スクール 全体概要 …… 22
　中島佑太×前橋市立宮城小学校 …… 23
　キット教材プロジェクト …… 24
表現の森 概要 …… 25
　滝沢達史×アリスの広場×ハレルワ …… 26
　中島佑太×南橘団地 …… 28
　廣瀬智央・後藤朋美×のぞみの家 …… 29
　アーツナビゲーター×デイサービスセンターえいめい …… 30
表現の森　実施事業一覧 …… 31
アーツナビゲーター研修 …… 32
あーつひろば …… 33
サポーター活動記録 …… 34
メンバーシップ …… 35
視察・見学 …… 36
インターンシップ …… 36
先生のための無料招待ウィーク …… 36
博物館実習 …… 36

Ⅳ　連携事業等 …… 37
身体の人たち …… 38
駅家ノ木馬祭 …… 39

Ⅴ　所蔵資料 …… 41
2020年度　収蔵作品 …… 42
2020年度　購入・寄贈作品 …… 43
2020年度　修復 …… 45
2020年度　貸出実績 …… 45
2020年度　収蔵図書 …… 45

Ⅵ　運営／各事業に関する資料 …… 47
条例 …… 48
運営評議会 …… 50
収蔵美術品専門委員会 …… 52
来館者数統計 …… 54
刊行物 …… 55
職員名簿 …… 55

展覧会出品リスト …… 69
関連記事 …… 75

【凡例】・《　》は、作品名を示す。〈　〉は、シリーズおよびプロジェクト名を示す。　・肩書き、役職などは事業実施時点のものである。
・年号の表記は西暦で統一した。ただし、「Ⅵ運営」のは和暦で統一した。

I

展覧会

Ⅰ 展 覧 会

廣瀬智央　地球はレモンのように青い

イタリアを拠点に活動を続ける廣瀬智央(1963ー)による、日本国内の美術館では20年ぶりの個展を開催した。近年、社会との接点を強く意識した作品も多く制作している廣瀬は、アーツ前橋では、開館前のプロジェクトとして、前橋の母子生活支援施設の子どもたちと空の写真を交換して、《空のプロジェクト：遠い空、近い空》を制作している。本展では、廣瀬がイタリア渡航以後に発表した初期の作品から国内未発表作品、そして新作までを含め、廣瀬のこれまでの活動を紹介した。会場にレモンを敷き詰める《レモンプロジェクト03》は注目を集め、これを観に多くの観客が訪れた。

【 会　　期 】 2020年6月1日(月)～7月26日(日)
※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から予定していた会期から遅れての開催となった。

【 日　　数 】 48日間

【開 館 時 間】 10時から18時まで(入場は17時30分まで)

【休　館　日】 水曜日

【 会　　場 】 アーツ前橋 地下ギャラリー

【観　覧　料】 一般500円／学生・65歳以上・団体(10名以上)300円／高校生以下無料
※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名および児童扶養手当証書をお持ちの方は無料

【 運　　営 】 ［主催］アーツ前橋
［協賛］株式会社資生堂、株式会社原田・ガトーフェスタ ハラダ
［助成］公益財団法人朝日新聞文化財団、公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団
［協力］ウンベルト・ディ・マリーノ・ギャラリー、AGC株式会社、株式会社アート、株式会社虎変堂、株式会社ユニオン、桐生大学短期大学部アート・デザイン学科、小山登美夫ギャラリー、高砂香料工業株式会社、横浜ディスプレイミュージアム、前橋工科大学工学部建築学科臼井研究室
［後援］イタリア大使館、上毛新聞社、群馬テレビ、FM GUNMA、まえばしCITYエフエム、前橋商工会議所

【出 品 点 数】 76点

【入 場 者 数】 6,448名

【印　刷　物】 ポスター B2版 850部
チラシ A4判 50,000部
セルフガイド A5版中綴じ 5,000部
図録 日本語／英語 A5版2冊組
bookⅠ 112頁 bookⅡ 100項 700部

【関 連 事 業】 **対談「オープニング・トーク 椹木野衣×廣瀬智央」**
［日時］2020年4月11日(土)14時から15時30分まで ※中止
［会場］アーツ前橋地下ギャラリー
感染症拡大の影響により中止としたため、YouTubeでのオンライン配信に変更した。
https://www.youtube.com/watch?v=v1eBHNeRhW4&t=145s
配信開始：2020年7月5日(日)

対談「過去・現在・未来　中村政人×廣瀬智央」
［日時］2020年5月24日(日)14時から15時30分まで ※中止

［会場］アーツ前橋地下ギャラリー
感染症拡大の影響により中止としたため、YouTubeでのオンライン配信に変更した。
https://www.youtube.com/watch?v=eJi520r6HOA&t=86s
配信開始：2020年7月5日(日)

対談「僕らの現代美術黎明期　村上隆×廣瀬智央」
［日時］2020年6月6日(土)14時から15時まで ※中止
［会場］アーツ前橋 スタジオ

「廣瀬智央 地球はレモンのように青い」廣瀬智央インタビュー配信
https://www.youtube.com/watch?v=-VVNUL9EV0U&t=14s
配信開始：2020年5月22日(金)

すてきな子供たちによる弦楽アンサンブル＝すみれ
［日時］2020年4月19日(日)14時開演 ※中止
［会場］アーツ前橋地下ギャラリー

学芸員によるギャラリートーク
［日時］2020年5月3日(日)、23日(土)14時から15時まで ※中止
［会場］アーツ前橋地下ギャラリー

おしゃべりアートデイズ
［日時］2020年4月17日(金)、18日(土)、5月15日(金)、16日(土)14時から14時30分まで ※中止
［会場］アーツ前橋地下ギャラリー

レモン再生プロジェクト
出展作品である《レモンプロジェクト03》で使用したレモンを石鹸や紙へ再生させる循環的なプロジェクト。アーティストの寺村サチコと桐生大学短期大学部の協力のもと、レモンを素材にそれぞれのプロダクトを制作した。必要な経費はクラウドファンディングによって調達し、石鹸と紙は支援者へのリターンの他、アーツ前橋が行っている館外プロジェクト「表現の森」で協働する母子生活支援施設や高齢者施設等に提供した。
［クラウドファンディング実施期間］2020年8月25日(火)～10月25日(日)
［主催］廣瀬智央 レモンプロジェクト03×桐生絹せっけん工房
［協力］桐生大学短期大学部、株式会社アート 桐生絹せっけん工房 KIRYU SILK SOAP FACTORY

【担当学芸員】 五十嵐純、吉田絵美、池上朋

糸の記憶　アーツ前橋所蔵作品から

絵画などに描かれる服飾表現は、人物の性格や雰囲気を特徴づけるとともに、文化や社会、時代を反映する。前期展示では、さまざまな人物を描いた近代の絵画作品による表現やアーツ前橋の初代ユニフォームと2代目ユニフォームを制作過程とともに紹介。

後期展示では、生糸や絹、養蚕にまつわる表現を紹介した。養蚕が盛んだったこの地域では蚕が《お蚕様（おこさま）》と呼ばれ大切にされていた歴史に注目し、蚕の一生を描いた髙橋常雄の《お蚕様》、桐生に残る銘仙を撮影した石内都の〈絹の夢〉シリーズなどを展示した。

【 会　　期 】 2020年6月1日（月）～2020年10月13日（火）
【 日　　数 】 116日間
【開 館 時 間】 10時から18時まで（入場は17時30分まで）
【休　館　日】 水曜日
【 会　　場 】 アーツ前橋　ギャラリー1、後期展示　8月13日よりプロムナード、ギャラリー2
【観　覧　料】 無料
【 運　　営 】 ［主催］アーツ前橋
【出 品 点 数】 25点
【入 場 者 数】 8,179名

【担当学芸員】 辻瑞生、今井朋

場所の記憶　想起する力

本展では、美術家たちが〈場所〉の現在や過去をそれぞれの感性によって表現した作品を紹介。アーツ前橋の位置する「場所の記憶」から始まり、地域アートプロジェクトを通じて生まれた作品やあたご歴史資料館が所蔵していた資料などを通じて、前橋空襲など歴史的な時間の流れのなかで改めて芸術の役割を見直した。

【会　　期】 2020年10月22日(木)～2021年3月21日(日)
【日　　数】 124日間
【開館時間】 10時から18時まで(入場は17時30分まで)
【休 館 日】 水曜日、年末年始12月28日(月)～1月4日(月)
【会　　場】 アーツ前橋 ギャラリー1、プロムナード、ギャラリー2、ギャラリー3
【観 覧 料】 無料　※一部「聴く」展の観覧券と共通
【運　　営】 [主催]アーツ前橋
【出品点数】 90点
【入場者数】 4,387名

【担当学芸員】 住友文彦、今井朋、井上康彦

聴く ― 共鳴する世界

「聴く」という行為を通して世界と関わることを実践している芸術作品を紹介し、「聴く」ことの実践にどのような創造性があるのかというテーマについての探求を試みた。背景にはアーツ前橋の地域アートプロジェクトにおける多様な分野の対話などにも通底するものがあり、さらに同時開催の「場所の記憶」展とも連動する内容となった。

図録のオンライン上の特設サイトへの移行やヘッドフォン、QRコードなどを用いた非接触型の鑑賞方法などを試み、遠隔地からのオンラインでの鑑賞や、来場者が安心して鑑賞できる環境整備を実践するなど、コロナ禍における展覧会のあり方や新たな鑑賞方法の可能性を模索することにもなった。

【会　　期】 2020年12月12日(土)～ 2021年3月21日(日)
【日　　数】 79日間
【開館時間】 10時から18時まで(入場は17時30分まで)
【休 館 日】 水曜日、年末年始12月28日(月)～1月4日(月)
【会　　場】 アーツ前橋 地下ギャラリー
【観 覧 料】 一般500円／学生・65歳以上・団体(10名以上)300円／高校生以下無料
※障害者手帳をお持ちの方と介護者1名は無料
※2021年1月9日(土)前橋初市まつりの日は無料
【運　　営】 [主催] アーツ前橋
[助成] 公益財団法人花王芸術・科学財団、財団法人國家文化芸術基金會
[協力] 前橋シネマハウス、東風
[後援] オーストラリア大使館、上毛新聞社、群馬テレビ、FM GUNMA、まえばしCITYエフエム、前橋商工会議所
【出品点数】 20点
【入場者数】 2,405名
【印 刷 物】 ポスター B2判 200部
セルフガイド 5,000部
図録 オンライン版図録(https://listening.artsmaebashi.jp/ ※会期終了後も公開)

【関連事業】 上映プログラム
本展のテーマを共有する映像、映画作品を展覧会の一部という位置づけで、展覧会チケットで併せて鑑賞可とした。一部、展覧会場で展示している作品も含めたが、鑑賞設備の整った映画館で上映会という集中して鑑賞できる機会を創出した。
[日時・上映作品]
12月12日(土)13時から
小森はるか＋瀬尾夏美《砂粒をひろうーKさんの話していたこととさみしさについて》、《波のした、土のうえ》
15時から
想田和弘《精神０》
12月26日(土)13時から
奥村雄樹《彼方の男》
15時から
坂上香《プリズン・サークル》

1月30日(土)13時から
小森はるか＋瀬尾夏美《砂粒をひろう－Kさんの話していたこととさみしさについて》、《波のした、土のうえ》
15時から
坂上香《プリズン・サークル》
3月20日(土)13時から
奥村雄樹《彼方の男》
15時から
坂上香《プリズン・サークル》
［会場］前橋シネマハウス
［参加人数］85名(新型コロナウィルス感染拡大防止のため席数制限)

館長によるギャラリートーク
［日時］1月23日(土)14時から15時まで
［会場］アーツ前橋 地下ギャラリー
［参加人数］9名

学芸員によるギャラリートーク
［日時］12月12日(土)、2月6日(土)14時から15時まで
［会場］アーツ前橋 地下ギャラリー
［参加人数］9名

おしゃべりアートデイズ
※中止

【担当学芸員】住友文彦、北澤ひろみ、五十嵐純

II

地域アートプロジェクト

Ⅱ　地域アートプロジェクト

滞在制作事業　海外アーティスト　概要

国立現代美術館レジデンシー・コヤン（MMCA Residency Goyang／韓国）と、新たに交流先として加わったカンドゥー美術館（Kuandu Museum of Fine Arts／台湾）との「国際芸術家交流プログラム」として、双方が選出した作家の滞在制作（AIR）を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予定していたプログラムを次年度に延期することを決定した。その代案として、これまでアーツ前橋が招聘した海外作家が残していった制作アイデアの中から、遠隔でも実現可能なものを選出し実施することを検討した。その結果2019年度招聘作家、キム・ジェミニ（韓国）と協働して、オンラインでの交流を中心とした遠隔でのアートプロジェクト〈ファクトリー・ラン・プロジェクト〉を行った。

スタジオ・サポートプログラム　概要

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、国内AIR事業の延期が決定したことをうけ、群馬県在住のアーティストに制作の場を支援する〈スタジオ・サポートプログラム〉を実施。指定期間の中で竪町スタジオを使用するアーティストを募集し、審査員3名による審査を行った。

結果、榎本浩子（前半）と村田峰紀（後半）が選出された。また審査員による話し合いにより、劇団灰ホトラを特別選考として、2スペースあるうちのひとつを利用し、活動してもらうこととなった。

【公 募 期 間】 2020年7月10日(金)～8月17日(月)
【公 募 内 容】 前橋市内にある竪町スタジオにて作品制作などを行う、群馬県在住のアーティストを募集
【応　募　数】 10件
【審 査 日 時】 2020年8月26日(水)
【審　査　員】 竹村京(アーティスト)
木暮伸也(写真家)
住友文彦(アーツ前橋 館長)

ファクトリー・ラン・プロジェクト：キム・ジェミニ

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、海外交流事業がすべて延期になったことにより、その変更案として2019年度に滞在制作の参加作家として招聘したキム・ジェミニと遠隔でプロジェクトを実施。19世紀後半から現在にかけて前橋市内に存在した／している様々な工場についてリサーチを行い、工場の跡地を巡るランニングコースマップを制作。実際に市民がそのコースをランニングしている映像を撮影し、ウェブサイト上でリサーチ情報と共に公開した。

このプロジェクトでは、失われていく工場の風景を走りぬけることで、近代から現代への激しい社会変化の中で見失われていく、かつての輝かしい労働者の記憶を、心と体に留めることを目指している。

http://invisiblefactories.com/

【印　刷　物】 MAP B3版　両面カラー　3,000部
【コーディネーター】 福西敏宏、村上雅紀
【助　　成】 令和2年度 文化庁 アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた国際文化交流促進事業

【担当学芸員】 五十嵐純、池上朋

スタジオ・サポート・プログラム　榎本浩子

日常のなかで見落とされてしまうような、ふとした出来事や、そのなかで生まれる些細な傷を修復するための作品を制作している榎本浩子は、自宅で栽培している植物や、蜜蝋を使用して制作を行った。作品の一部となる「石鹸」の制作場所として、広く水場があるスタジオを探していたことから、竪町スタジオを使用した本プログラムに応募し、期間中には約50個の「石鹸」を制作した。それと同時に蜜蝋の彫刻の制作も進めていった。

普段は群馬県内にある自宅で制作することが多い榎本にとって、広いスペースでの制作は、快適に作業に没頭できる時間となった。

【利　用　期　間】 2020年10月1日(木)～11月30日(月)
【利　用　場　所】 竪町スタジオ
【印　刷　物　等】 活動報告映像 https://www.youtube.com/watch?v=KcPC2cIjGrM&t=350s

【担 当 学 芸 員】 池上朋、五十嵐純

スタジオ・サポート・プログラム　村田峰紀

群馬県出身で現在は前橋にスタジオを構え制作活動を行っている村田峰紀は、自身のスタジオでは制作が難しい大作に挑戦し、期間中に約1.8×8mの平面を完成させた。最終週には新型コロナウイルス感染症対策を講じた成果発表展を、ガラス越しに見る作品の展示として実施した。パフォーマンスを中心に制作を展開する村田にとって、昨年から続く感染症拡大の影響により発表の場が減りつつある状況であったが、本事業のなかで平面作品の制作に向き合い没頭する時間をつくることで、アーティストとしての新しい発見を見出すことができた。

【利　用　期　間】 2021年1月5日(火)～3月7日(日)
【利　用　場　所】 竪町スタジオ
【関　連　事　業】 **スタジオ・サポート・プログラム　成果報告展**
スタジオ・サポート・プログラム期間中に制作した作品やアイデアを披露する報告展示
[日時]2021年3月6日(土)、7日(日)10時から18時まで
[会場]竪町スタジオ1F
[参加人数]50名
【印　刷　物　等】 活動報告映像 https://www.youtube.com/watch?v=eklhztgKCfw

【担 当 学 芸 員】 池上朋、五十嵐純

スタジオ・サポート・プログラム　灰ホトラ

「灰ホトラ」は主宰の荒木聡志が全作品の、作、演出、作曲、広報デザイン、映像制作を行う演劇団体である。2020年「せんがわ劇場演劇コンクール」ファイナリストに選出されたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で稽古場が使用できなくなったことをきっかけに本プログラムに応募した。プログラムの前半は、活動をしばらく休止していたこともあり、荒木が自身の感覚を取り戻す期間として執筆などの作業にあて、後半は本格的な演出の稽古を行った。また、オープンスタジオでは、感染症対策として観覧者を1時間に3名限定にし、映像を使った新しい試みの演劇を披露した。

【利　用　期　間】 2020年10月1日(木)～11月30日(月)／2021年1月5日(火)～3月7日(日)
【利　用　場　所】 竪町スタジオ
【関　連　事　業】 **スタジオ・サポート・プログラム　成果報告展**
スタジオ・サポート・プログラム期間中に制作した作品やアイデアを披露する報告展示
[日時]2021年3月6日(土)、7日(日)10時から18時まで
[会場]竪町スタジオ1F
[参加人数]75名

【印　刷　物　等】 活動報告映像 https://www.youtube.com/watch?v=pEIvm0cfY24
【担 当 学 芸 員】 池上朋、五十嵐純

多文化共生プロジェクト

2018年にアーツ前橋の滞在制作事業に参加したスン・テウは、前橋在住のベトナム人留学生と交流する中で、彼らの前橋での経験や故郷を離れ生活することの想いを歌詞におこし、それをもとに《more than day（1日よりも長く）》という歌を制作した。

その歌を展覧会「聴くー共鳴する世界」の会期中、ベトナム食材店やレストラン、街なかのお店など前橋市内の12カ所で、専用のポータブルプレイヤーを通して1日に1度、午後4時に流した。通りすがりの人が歌を聴くことによって、市内で生活をしているベトナム人をはじめとする外国人の存在に目を向けるきっかけをつくることを目的とした。またプロジェクトの概要を記載したリーフレットをテウと共同で制作し、協力店やアーツ前橋の展示会場で配布した。

【開　催　概　要】 **スン・テウ　ソングプロジェクト**
スン・テウが制作した歌、《more than day(1日よりも長く)》を商店街を中心とする前橋市内12カ所で1日に1度流した。
［日時］2020年12月12日(土)から2021年3月21日(日)まで

【　運　　営　】 ［主催］アーツ前橋

【コーディネーター】 福西敏宏、小出和彦

【印　刷　物】 リーフレット B2版 4つ折り 3,500部

【　助　　成　】 地方創生推進交付金

【担当学芸員】 池上朋、五十嵐純

多文化共生プロジェクト

前橋市や、その近郊に住む海外にルーツを持つ人たちをゲストに招き、彼らの日常やここで暮らす想いを語ってもらうラジオ番組を開始した。

彼／彼女たちが日本での生活のなかで感じたことを聴くことによって、身近なところからお互いの文化を知り、一つの街のなかで世界が少しでも広がっていくことを目指している。

母国語で前橋市民に向けたメッセージを話してもらったり、ローカルフードを紹介するコーナーもある。

【開　催　概　要】 **イミグラジオ～アーツ前橋多文化放送局～**
海外にルーツを持つ人たちをゲストに招き、日々の出来事や想いを話してもらうインターネットラジオ。アーツ前橋の公式ホームページで配信。
［日時］2020年12月より、約月1回のペースで配信
［パーソナリティ］小出和彦、池上朋
［通訳］ホアン・グエン・フォン・タオ
［音響・編集］福西敏宏
［ゲスト］ホアン・グエン・フォン・タオ(1回目)、レ・ホアン・ロン、ファム・トウイ・スアン・ホン(2回目)、グエン・ホン・グエン(3回目)、グエン・バン・クアン(4回目)

【　運　　営　】 ［主催］アーツ前橋

【コーディネーター】 福西敏宏、小出和彦、ホアン・グエン・フォン・タオ

【印　刷　物】 B5版 チラシ 3,000部

【　助　　成　】 地方創生推進交付金

【担当学芸員】 池上朋、五十嵐純

Ⅲ

ラーニング

〈アーティスト・イン・スクール（A.I.S）〉全体概要

アーティスト・イン・スクール（A.I.S）は平成28年度から続く学校連携の事業であり、アーティストやクリエイターを市内の小・中・高等学校へ派遣し、児童・生徒、学校の先生たちと関わりながらワークショップや授業を行ってきた。児童・生徒たちとアーティストが共同で学び、表現力や発想の豊かさ、コミュニケーション力を身につけることを目的としている。

5年目となる令和2年度は新型コロナ感染症拡大防止の影響により実施学校数が減ったが、前橋市立宮城小学校1校で事業の実施が実現された。今回は3名の美術教育の専門家をコーディネーターとして迎え、意見交換を行いながら事業を進め、コロナ禍ならではの取り組みとして動画を多用したプログラムを実施した。

【　主　　催　】　アートによる対話を考える実行委員会、アーツ前橋
【　助　　成　】　令和2年度 文化庁 地域と共働した博物館創造活動支援事業
【　協　　力　】　前橋市立宮城小学校
【コーディネーター】　郡司明子、茂木克浩、井上昌樹
【　映　　像　】　岡安賢一
【印 刷 物 等】　報告書 A4判 12ページ中綴じ 3,000部
記録映像 ダイジェスト版

中島佑太×前橋市立宮城小学校

アーティストの中島佑太は2学期より定期的に前橋市立宮城小学校に通い、児童との交流を図った。

授業では図工の授業の補助教員として関わるほか、自身のアーティストとしての活動のプレゼンテーションを行ったり、ワークショップを実施することもあった。また、体育や学級活動の授業に児童と同じ立場で参加するなど、長期的で多面的な関わりを持ち、児童や教員との信頼関係を築いた。令和2年度はコロナ禍という状況で、特にこれまでの“当たり前”が大きく揺らいだ年となった。問題を解決する力のみならず、問題を見つける力や新しい発想力が必要とされている。そこにアーティストならではの視点で、児童たちと対話を続けている。

【　日　　時　】　2020年度2学期から3学期
【　会　　場　】　前橋市立宮城小学校　6年生教室、4年生教室、体育館 ほか
【　講　　師　】　中島佑太
【　対　　象　】　前橋市立宮城小学校　6年生2クラス56名、4年生1クラス33名 ほか

【担 当 学 芸 員】　今井朋、大井田弘子

キット教材プロジェクト

令和2年度は前橋市立宮城小学校で大きなプロジェクトとして、〈キット教材プロジェクト〉を実施。図工のキット教材を使って、児童とアーティストが共に学び合うプロジェクトであり、群馬県内を拠点に活動する6組（7名）のアーティストが講師として参加した。

6年生の児童は同じキット教材「アミアミアミーゴ」を使って2回作品を制作した。1回目は教科書やキット教材の記載に基づき制作。その後、児童にはある動画を視聴してもらった。それはアーティストが同じ「アミアミアミーゴ」を使って技法や材料を限定せず、自由な発想で作品制作をした様子を撮影した動画である。動画を視聴した後に、児童は2回目の制作に挑んだ。

1回目と2回目で児童の制作に取り組む姿勢や作品の変化を映像や写真、教員やコーディネーターによる振り返りトークによって記録した。

【　日　　時　】　2020年10月22日(木)～2020年11月27日(金)
【　会　　場　】　前橋市立宮城小学校
【　講　　師　】　中島佑太、牛嶋直子、
　　榎本浩子、木暮伸也、
　　CLEMOMO、豊田共子
【　対　　象　】　前橋市立宮城小学校
　　6年生2クラス56名

【担 当 学 芸 員】　今井朋、大井田弘子

表現の森　概要

企画展「表現の森　協働としてのアート」(2016年7月22日～9月25日)をきっかけに始まったアーティストと前橋市内にある施設や団体が協働する5つのプロジェクト。2020年度も継続事業として5年目の活動を行った。

表現の森の協働先は、福祉施設／団体が多く、これまでは施設などでのワークショップを多く行ってきたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、プログラムの大きな変更を余儀なくされた。

これまで対面で行ってきたプログラムをどのように継続できるのかを作家と施設の職員の方たちや関連する団体の方たちと考え続けた一年となった。手紙、Zoomを使用したオンライン対話、YouTubeチャンネルでの配信プログラムなど、これまで培ってきた関連団体との関係性を基に、それぞれに合った形で、コロナ禍でもプログラムを継続できる方法で実施した。

【　主　　催　】　アートによる対話を考える実行委員会
【　共　　催　】　アーツ前橋
【　助　　成　】　令和2年度 文化庁 地域と共働した博物館創造活動支援事業
【　協　　力　】　社会福祉法人 清水の会 デイサービスセンターえいめい
NPO法人 ぐんま若者応援ネット アリスの広場
セクシュアルマイノリティ支援団体 ハレルワ
南橘町自治会
社会福祉法人 上毛愛隣社 のぞみの家
【　協　　賛　】　増田煉瓦株式会社
【印 刷 物 等】　表現の森特設サイト https://www.artsmaebashi.jp/FoE/

滝沢達史×アリスの広場×ハレルワ

2019年度に始動したアリスの広場とハレルワの共同拠点である「まちのほけんしつ」プロジェクトは、クラウドファンディングなどを通じて資金調達をしながら、着実にオープンに向けて、若者たちと共に場作りを進めた。

アーティストの滝沢達史はその2団体との交渉なども含め拠点づくりを進める他に、コロナ禍の影響を大きく受け、これまで若者たちと行ってきたプログラムの実施が困難になったことから、新たに「まちほけチャンネル」というYouTube配信番組を2団体と共に始動させた。

その他、休館日にアーツ前橋を訪れる「ゆったりアーツ」もこれまで通り開催した。

【活　動　期　間】 2020年7月22日(水)～2021年2月12日(金)全12回
【アーティスト】 滝沢達史
【連　　携　　先】 NPO法人ぐんま若者応援ネット アリスの広場
セクシュアルマイノリティ支援団体 ハレルワ
【コーディネーター】 天羽絵莉子
【関連イベント】 **第1回まちほけチャンネル**
まちほけチャンネルの初回として、「ひきこもり・LGBT・アートで語るよもやま話」と題し、新たな拠点のそれぞれの代表とともにこの場所ができるまでを振り返った。
[日時]2020年9月22日(火・祝)15時から16時30分まで
[会場]まちのほけんしつ
[スピーカー]滝沢達史(表現の森アーティスト)、佐藤真人(アリスの広場代表)、間々田久渚(ハレルワ代表)、天羽絵莉子(表現の森コーディネーター)
[番組アーカイヴ]https://www.youtube.com/watch?v=vH-7zlR1-kc

第2回まちほけチャンネル
これまでアーツ前橋×群馬大学で行ったまちづくり講座の講師も務めていたことのある坂倉杏介をゲストに、多様性のある場づくりについて話し合った。

[日時]2020年12月12日(土)19時から20時30分まで
[会場]まちのほけんしつ
[ゲスト]坂倉杏介(東京都市大学都市生活学部准教授)
[番組アーカイヴ]https://www.youtube.com/watch?v=qHt8F0cGdSU

第3回まちほけチャンネル
アリスの広場／ハレルワのどちらの団体も立ち上げから現在までの活動を支えてきた星野久子とこれまで／これからをざっくばらんに話した。
[日時]2020年12月13日(日)15時から16時30分まで
[会場]まちのほけんしつ
[ゲスト]星野久子(社会福祉法人群馬県共同募金会)
[番組アーカイヴ]https://www.youtube.com/watch?v=cULz-rm-_mk

第4回まちほけチャンネル
アーツ前橋が行うアーティスト・イン・スクール事業に関わるゲストとともに「学校の変なルールをおもしろいものに」と題して学校現場とアートの親和性について話し合った。
[日時]2021年2月11日(日)14時から16時まで
[会場]まちのほけんしつ
[ゲスト]郡司明子(群馬大学教育学部准教授)、中島佑太(アーティスト)、住友文彦(アーツ前橋館長)

【印　刷　物】 表現の森特設サイト記事掲載 https://www.artsmaebashi.jp/FoE/projects/project02/
【参　加　人　数】 173名 ※「まちほけチャンネル」の参加者数はゲストおよびスタッフ数のみカウント

【担当学芸員】 今井朋

中島佑太×南橘団地

公営団地である南橘団地における活動は、コロナ禍の影響を大きく受けながらも、全5回のワークショップを開催した。

これまでは南橘公民館を会場に子どもたちを対象にしたワークショップを開催してきたが、コロナ禍の影響により、対面でのプログラムの開催が難しくなったため、昨年度の「足尾ツアー」の企画チームを構成する5名（中学生3名、小学生2名）を対象にプログラムを行った。手紙のやり取りやZoomでのオンラインプログラム、また年度末には実際に公民館に集まりお互いの日常を撮りためたチェキ写真を使って、映画のシナリオを制作した。

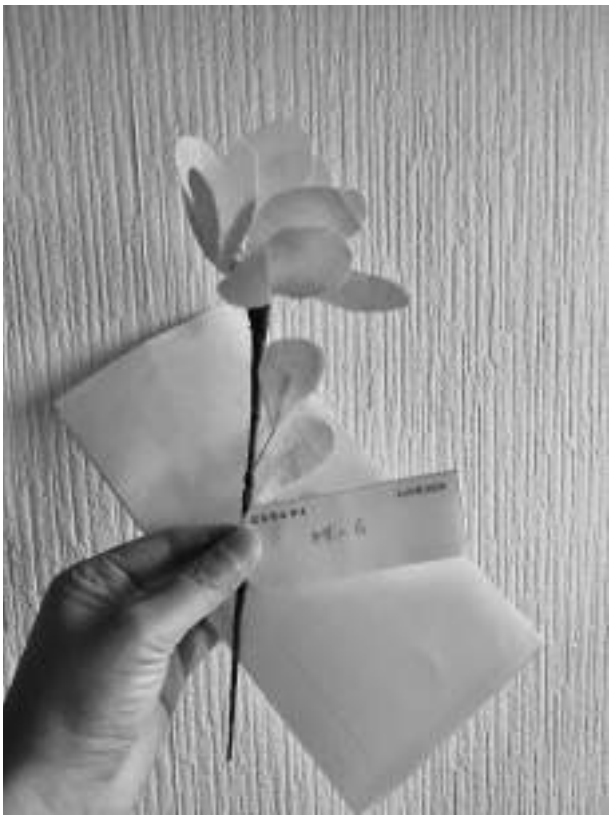
また、今後のプログラムを考えるために、「旅」に関するインタビューを通じて、団地内の高齢者との交流も行った。

【活　動　期　間】 2020年9月1日(火)～2021年3月20日(土)全5回
【アーティスト】 中島佑太
【連　携　先】 南橘町自治会
【映　像　記　録】 岡安賢一
【印　刷　物】 表現の森特設サイト記録掲載
https://www.artsmaebashi.jp/FoE/projects/project03/
【参　加　人　数】 26名

【担当学芸員】 今井朋

廣瀬智央・後藤朋美×のぞみの家

2016年度に始動した「タイムカプセルプロジェクト」は2035年まで、のぞみの家／アーティスト／アーツ前橋が交流し続けるプログラム。5年目の活動となった2020年度は、コロナ禍により施設内でのワークショップの開催が困難となったが、施設長や施設のスタッフと一緒に直接的な接触を避けながらも、これまでのような活動をどのように継続することができるのかを考えた。毎年、恒例となった秋のタイムカプセル記念日には、増田煉瓦に協力していただき、のぞみの家の希望する家庭へピザのデリバリーを行った。また、同時に「心の花」ワークショップキットを配布し、1組の家庭から実際に制作した花がアーツ前橋に届けられた。3月には、施設のスタッフと子どもたちで空の写真週間を行った。



【活　動　期　間】 2020年7月18日(土)～2021年3月23日(火)
【アーティスト】 廣瀬智央、後藤朋美
【連　携　先】 社会福祉法人上毛愛隣社 のぞみの家(母子生活支援施設)
【コーディネーター】 小田久美子、福西敏宏
【協　　力】 増田煉瓦株式会社
フードバンクまえばし
【印　刷　物】 ポスター A3版 3種 のぞみの家掲出用
表現の森特設サイト記録記事掲載
https://www.artsmaebashi.jp/FoE/projects/project04/
【参　加　人　数】 64名

【担当学芸員】 今井朋、大井田弘子

アーツナビゲーター×デイサービスセンターえいめい

2016年度から2019年度までは、神楽太鼓奏者の石坂亥士とダンサーの山賀ざくろと共に特別養護老人ホーム等で音と身体を使ったワークショップを行ってきたが、コロナ禍において高齢者施設への入館が困難となったことから、プログラム内容を大きく変更した。

アーツナビゲーターとデイサービスの利用者をオンラインで繋ぎ、アーツ前橋の収蔵作品である福田貂太郎の《噴水の繪》を見ながら、高齢者との対話型鑑賞を行った。《噴水の繪》に描かれているのが、かつての前橋駅の旧駅舎であることもあり、高齢者の記憶をナビゲーターが引き出す回想法にも近い鑑賞会となった。

【活　動　期　間】 2021年2月20日(土)～3月6日(土) 全3回
【　講　　師　】 齊藤佳代
【連　携　先】 社会福祉法人清水の会えいめい デイサービスセンターえいめい
【コーディネーター】 木村祐子
【印　刷　物】 表現の森特設サイト記録記事掲載
https://www.artsmaebashi.jp/FoE/projects/project01/
【参　加　人　数】 33名

【担当学芸員】 今井朋、新井陽子

表現の森　実施事業一覧

日付	曜日	時間	イベント名	講師／出演者	会場	参加人数
2020/ 7/18	土	14:00～16:00	もろこしさん（旧のぞみの家入居者）×後藤朋美対談	もろこし、後藤朋美	アーツ前橋スタジオ	7
2020/ 7/22	水	13:00～17:00	滝沢達史×アリスの広場　ゆったりアーツ	滝沢達史	アーツ前橋ギャラリー	16
2020/ 7/23	木	12:00～18:00	滝沢達史×アリスの広場　アリス美術部	滝沢達史	まちのほけんしつ	12
2020/ 7/24	金	12:00～20:00	滝沢達史×アリスの広場　アリス美術部	滝沢達史	まちのほけんしつ	10
2020/ 9/ 1	火	―	お手紙ワークショップ	中島佑太	参加者各自宅	4
2020/ 9/22	火・祝	15:00～16:30	第1回まちほけチャンネル	滝沢達史、間々田久渚、佐藤真人	まちのほけんしつ	31
2020/ 9/23	水	13:00～16:00	ゆったりアーツ	滝沢達史	アーツ前橋ギャラリー	19
2020/ 9/24	木	13:00～18:00	アリス美術部	滝沢達史	まちのほけんしつ	13
2020/10/10	土	15:00～17:00	心の花のワークショップ	後藤朋美	アーツ前橋スタジオ	6
2020/10/11	日	15:00～17:00	もろこしさん（旧のぞみの家入居者）×廣瀬智央対談	もろこし、廣瀬智央、後藤朋美	片貝海岸	8
2020/10/21	水	17:30～20:00	食のワークショップ　ピザデリバリー	廣瀬智央、後藤朋美	のぞみの家	32
2020/11/ 4	水	―	心の花のワークショップ	後藤朋美	のぞみの家	3
2020/12/12	土	15:00～18:00	アリス美術部	滝沢達史	まちのほけんしつ	9
2020/12/12	土	19:00～21:00	第2回まちほけチャンネル	坂倉杏介、滝沢達史、間々田久渚、佐藤真人、天羽絵莉子	まちのほけんしつ	11
2020/12/13	日	15:00～16:30	第3回まちほけチャンネル	星野久子、滝沢達史、間々田久渚、佐藤真人、天羽絵莉子	まちのほけんしつ	10
2021/ 2/10	水	11:00～13:30	滝沢相談室	滝沢達史	the breaks café	3
2021/ 2/11	木	14:00～16:00	第4回まちほけチャンネル	滝沢達史、間々田久渚、佐藤真人、天羽絵莉子、中島佑太、郡司明子、住友文彦	まちのほけんしつ	12
2021/ 2/12	金	13:00～16:00	ゆったりアーツ	滝沢達史	アーツ前橋ギャラリー	27
2021/ 2/20	土	17:30～18:30	アーツナビ×えいめいオンライン鑑賞会（対えいめい職員）	齊藤佳代	MTGルーム×えいめい	9
2021/ 2/27	土	16:00～18:00	Zoomワークショップ	中島佑太	MTGルーム×参加者各自宅	6
2021/ 3/ 1	月	10:00～11:00	南橘団地住民インタビュー①	中島佑太	南橘町自治会室	4
2021/ 3/ 2	火	10:00～11:00	南橘団地住民インタビュー②	中島佑太	南橘町自治会室	4
2021/ 3/ 5	金	14:00～14:30	アーツナビ×えいめいオンライン鑑賞会①	齊藤佳代	MTGルーム×えいめい	11
2021/ 3/ 6	土	14:00～14:30	アーツナビ×えいめいオンライン鑑賞会②	齊藤佳代	MTGルーム×えいめい	13
2021/ 3/20	土	14:00～16:00	次のワークショップを考えるワークショップ（チェキ編）	中島佑太	南橘公民館	8
2021/ 3/23	火	―	空のワークショップ	廣瀬智央、後藤朋美	のぞみの家	8

アーツナビゲーター研修

アーツ前橋サポーター活動の一プログラムとして、来館者と共に対話型作品鑑賞を行うボランティアガイド〈アーツナビゲーター〉を育成するための研修プログラム。研修では、グループワークを基本に作品鑑賞の意義やガイドプランの作成方法などを実際に体験しながら習得し、作家・作品情報などの専門知識に頼らない鑑賞方法について学びを深めた。

本年度はオンラインでの対話型鑑賞の可能性を模索した1年であり、今後のアーツナビゲーター活動に繋がる対話型鑑賞活動の、新たな形での広がりを確信する転換の年となった。コロナ禍において活動が大きく制限されたものの、オンライン鑑賞会等により全員がナビゲーターとしてデビューできた。

【 主　　催 】 アーツ前橋
【 講　　師 】 齊藤佳代
【参 加 人 数】 のべ45名

【担当学芸員】 辻瑞生、今井朋、大井田弘子、新井陽子

【活 動 履 歴】

日付	曜日	時間	内容	講師／出演者／解説者	会場	参加人数
2020/ 6/28	日	10:30～12:30	基礎研修（オンライン鑑賞ワークショップ）	齊藤佳代、辻瑞生	スタジオ、ギャラリー	2(10)
2020/ 8/30	日	10:30～16:30	基礎研修（横浜トリエンナーレ2020オンライン鑑賞体験）	齊藤佳代、辻瑞生、大井田弘子	スタジオ、ギャラリー	11
2020/10/24	土	10:30～16:00	実践研修（ディスカッション、グループワーク）	齊藤佳代、辻瑞生、今井朋	スタジオ、ギャラリー	4
2020/12/19	土	10:30～17:00	実践研修（ディスカッション、コーチング）	齊藤佳代、今井朋、新井陽子	スタジオ、ギャラリー	6
2021/ 1/19	土	14:00～16:00	実践研修（ディスカッション、グループワーク）、個人面談	齊藤佳代、今井朋、新井陽子	スタジオ、ギャラリー	6
2021/ 1/20	日	14:00～16:00	実践研修（ディスカッション、グループワーク）、個人面談	齊藤佳代、今井朋、新井陽子	スタジオ、ギャラリー	6

あーつひろば

アーツ前橋でアートを鑑賞したり、工作を楽しんだり、アーティストと一緒に活動したり「ひろば」のように色々な体験ができるイベントプログラム。アーティストや展覧会やシーズンイベントと連動したプログラムを実施し、子どもから大人まで幅広い表現を体験できる。今年度は、1人のアーティストをワークショップ講師として招聘したほか、新しい取り組みとしてサポーターとアーティストが協働でワークショップを企画する長期プロジェクトも実施した。

【関連イベント】 第1回あーつひろば

［日時］2020年11月29日（日）13時から16時まで
［会場］アーツ前橋　スタジオ、交流スペース
［参加人数］26名

プログラム：「ゆかいな植物：わたしの葉っぱとみんなの花」
［講師］半谷学

アーティストの半谷学を講師に迎え、造形ワークショップ「わたしの葉っぱとみんなの花」を実施、6組（13名）の親子が参加した。

古いロープから繊維を取り出した材料と、参加者が持参した「いらないけど捨てられない材料」で作ったものを合体させて「ゆかいな植物」を作り、アーツ前橋1階交流スペースに展示。誰かが不要としたものでも見かたを変え、手を加えればステキな作品へと変化する。ものの魅力と資源の大切さを楽しみながら学ぶ機会となった。
［展示期間］2020年11月29日（日）から2021年1月31日（日）

第2回あーつひろば

［日時］2020年12月から2021年3月（一般開催は中止）
［会場］アーツ前橋　スタジオ、サポータールーム、交流スペース
［参加人数］25名

プログラム：「機織りプロジェクト」
［講師］西岳拡貴

サポーターとアーティストの西岳拡貴が協働であーつひろば開催に向け、企画の段階から話し合いながらプログラムをつくる長期プロジェクト。今回は「人力巨大機織り」をつくるというアイデアがまとまり、サポーター、アーティスト、スタッフによりワークショップ実施のための実験や準備を行った。予定では2021年2月に一般の方を対象としたあーつひろばを開催する予定だったが、コロナ禍の影響により中止。代替として、サポーターへ機織りの材料提供を呼びかけ、集まった材料を使い西岳とスタッフのみで機織りを実施した。織りあげた作品と制作風景の映像をアーツ前橋1階交流スペースに展示。令和3年度も引き続きあーつひろば開催に向けプロジェクトを進めていく。

［展示期間］2021年3月24日（水）から6月30日（水）

【印　刷　物】 チラシ A4版 1,000部

【担当学芸員】 池上朋、大井田弘子

サポーター活動記録

日付	曜日	内容
2020/ 6/30	火	広報物発送作業
2020/ 7/ 8	水	オンライン講座第一回収録観覧
2020/ 7/29	水	オンライン講座第一回配信
2020/ 7/31	金	レモンプロジェクト03 リサイクル・プロジェクト
2020/ 8/ 1	土	レモンプロジェクト03 リサイクル・プロジェクト
2020/ 8/29	土	オンライン講座第二回収録観覧
2020/ 9/20	日	展覧会参加作家との意見交換会
2020/10/10	土	オンライン講座第三回収録観覧
2020/10/10	土	お花のワークショップキット作り
2020/10/20	火	オンライン講座第二回配信
2020/11/28	土	あーつひろば前日準備とサポーターの制作体験
2020/11/29	日	第一回あーつひろば開催「ゆかいな植物：わたしの葉っぱとみんなの花」
2020/12/ 5	土	第二回あーつひろばに向け：作家とミーティング
2020/12/ 8	火	オンライン講座第三回配信
2020/12/19	土	第二回あーつひろばに向け：巨大機織り機実験会
2021/ 1/28	木	機織りプロジェクト素材募集のお知らせメール配信
2021/ 2/20	土	機織りプロジェクト素材募集締め切り
2021/ 3/ 6	土	機織りプロジェクト@中之条
2021/ 3/24	水	機織りプロジェクト作品展示

（第二回あーつひろばは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。代替としてサポーターから機織りの素材を募集し、作家とスタッフで機織り制作を行った）

メンバーシップ（2020年4月1日現在）

【会　員　数】　一般会員：72名（男37名、女35名／県内71名、県外1名）
ペア会員：18組
賛助会員：0名
法人会員：16社

【印　刷　物】　会報
vol.12 2020年12月発行
vol.13 2021年3月発行

【 担　　当 】　辻瑞生、新井陽子、宇田春菜

vol.12

vol.13

視察・見学

日付	時間	団体名（団体解説）	人数
6月13日（土）	11:00	前橋市立芳賀小学校	2
7月17日（金）	10:00	岡山市議会議員	1
7月20日（月）	15:00	群馬大学	7
8月24日（月）	14:00	前橋市議会	13
11月 5日（木）	10:00	前橋市立前橋高等学校	10
11月13日（金）	10:00	前橋市立桃井小学校	65

インターンシップ

日付	参加大学	人数
8月24日（月）～ 8月28日（金）	高崎経済大学	1
8月24日（月）～ 8月28日（金）	新潟大学	1
9月24日（木）～ 1月25日（月）	共愛学園前橋国際大学	1

先生のための無料招待ウィーク

期間	展覧会名	参加人数
2020年6月13日（土）～ 6月28日（日）	廣瀬智央　地球はレモンのように青い	22
2021年1月 9日（土）～ 1月24日（日）	聴く－共鳴する世界	2

博物館実習

期間	人数
8月21日（金）～22日（土）、8月24日（月）～26日（水）	4

Ⅳ

連携事業 等

身体の人たち

2016年度に開催した「身体拡張ラボ」参加者を中心に設立し、活動をつづけた「身体の芸術推進実行委員会」が、2019年度に名称を変更し、「身体の人たち」として活動を継続した。2020年度は、毎月の定例会議とは別に、ワークショップを交えた24時間会議「向こう岸の君へ語る／身体の人たちの続く会議」を竪町スタジオにて実施した。

【主　　催】　身体の人たち

【構 成 員】　小出和彦、坂川善樹、岡庭涼、中村ひろみ、本田美咲、秋山惠璃、村田峰紀、荒木聡志、阪中隆文

【開 催 概 要】　**「向こう岸の君へ語る／身体の人たちの続く会議」**

意思決定と合意形成の場/時間としての「会議」を概念拡張することを目的とし、議論し語り合う人たちの身体性を問う場/時間として24時間に及ぶ会議を開催。「コロナと身体」、「集団と身体」、「未来と身体」の3つの議題を設け、メンバー全員で語り合った。

［日時］2021年3月13日（土）から3月14日（日）まで

［会場］竪町スタジオ

［参加人数］10名

［企画］身体の人たち

【担当学芸員】　五十嵐純

駅家ノ木馬祭

アーティストの白川昌生が企画・構想した、前橋の歴史上の人物をめぐる虚実ないまぜとなった物語「駅家ノ木馬物語」。その物語に出てくるお祭りを実際に前橋中心市街地で行った。9年目となる今年度は春と秋の2回開催となり、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年と方法を変え実施した。

【開 催 概 要】

春の木馬祭り

神輿を担ぎ、かけ声と共に利根川まで練り歩き、利根川にて御水取りの儀式を行った。感染症対策のため、人数を制限し、間隔をあけてマスク着用のもと行進を行った。

［日時］2020年5月9日（土）9時から11時まで

［会場］弁天通りから広瀬川沿いを歩き利根川まで

［参加人数］15名

駅家ノ木馬祭　本祭

感染症拡大の影響から、例年のようにパレードは行わず、弁天通りに木馬とのぼり、白川がこの行事のために描き上げた垂れ幕を、弁天通りに展示した。

［日時］2020年10月22日（木）から10月31日（土）まで

［会場］弁天通り

［参加人数］21名

【担当学芸員】　池上朋

V

所蔵資料

2020年度　収蔵作品（2020年4月1日 ― 2021年3月31日）

	H26年度以前	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	令和2年度				合計
							購入	寄贈	移管	小計	
絵画	449	2	23	45	9	30	7	15		22	588
水彩・素描・下図	62	1		1		8					72
版画	4					2	10			10	8
写真			38	9	16		2	4		6	69
彫刻・立体ほか	7	3	3	6	6	2	5	4		9	36
メディアアート	1	2		2	1	2	1	10		11	19
工芸		3		3							6
書	32			7							39
	555	11	64	73	32	44	25	33	0	58	837

2020年度　購入・寄贈作品

作家名	作品名	制作年／発行年	初出展覧会	寸法（縦×横）cm	技法・材質・その他	取得
熊井淳一	何すんの？	2007年	「熊井淳一」展（2007年 広瀬画廊 群馬）	10.0×36.8×17.5	ブロンズ	購入
熊井淳一	除角の雄山羊	2012年	「一元会」展（2012年 ギャラリー青羅 東京）	42.0×24.0×28.0	ブロンズ、鉄漿	購入
熊井淳一	餌に届くか	2013年	「一元会」展（2013年 ギャラリー青羅 東京）	50.0×40.0×18.0	ブロンズ、鋳造吹きっぱなし	購入
廣瀬智央	ビーンズコスモス	2013年	「ケルビーノ」（2013年8月/ART GALLERY/ Tomio Koyama Gallery 東京）	25.0×25.0×25.0	アクリル樹脂、地図、プラスチック、豆、金、ビーズ、ガラスビーズ、ナッツ、キンカンの果実	購入
廣瀬智央	ロンリープラネット	2010年	「ケルビーノ」（2013年8月/ART GALLERY/ Tomio Koyama Gallery 東京）	11.0×18.0×18.0	ワックス、豆	購入
廣瀬智央	地球はオレンジの実のように青い	2017、2008年	「ケルビーノ」（2013年8月/ART GALLERY/ Tomio Koyama Gallery 東京）	20.0×30.5	モノクロプリント	購入
廣瀬智央	無題（ブルードローイング）	2011年	「ケルビーノ」（2013年8月/ART GALLERY/ Tomio Koyama Gallery 東京）	20.0×15.5	アクリル、オイルマーカー、紙	購入
廣瀬智央	無題（ブルードローイング）	2010年	「ケルビーノ」（2013年8月/ART GALLERY/ Tomio Koyama Gallery 東京）	20.0×15.5	アクリル、オイルマーカー、紙	購入
廣瀬智央	無題（ブルードローイング）	2011年	「ケルビーノ」（2013年8月/ART GALLERY/ Tomio Koyama Gallery 東京）	20.0×15.5	アクリル、オイルマーカー、紙	購入
廣瀬智央	無題（ブルードローイング）	2011年	「ケルビーノ」（2013年8月/ART GALLERY/ Tomio Koyama Gallery 東京）	20.0×15.5	アクリル、オイルマーカー、紙	購入
廣瀬智央	無題（ブルードローイング）	2011年	「ケルビーノ」（2013年8月/ART GALLERY/ Tomio Koyama Gallery 東京）	20.0×15.5	アクリル、オイルマーカー、紙	購入
廣瀬智央	無題（ブルードローイング）	2011年	「ケルビーノ」（2013年8月/ART GALLERY/ Tomio Koyama Gallery 東京）	20.0×15.5	アクリル、オイルマーカー、紙	購入
ケレン・ベンベニスティ	ハーフライフ	2017年	「つまずく石の縁 ー地域に生まれるアートの現場ー」（2018年 前橋中心市街地 群馬）	6分20秒、5分50秒	4チャンネルビデオ、サウンドインスタレーション	購入
河口龍夫	消去された時間	1963年	「河口龍夫 1963年の銅版画より」（2018年 SNOW Contemporary 東京）	20.0×36.0	銅版画（エッチング）	購入
河口龍夫	人	1963年	「河口龍夫 1963年の銅版画より」（2018年 SNOW Contemporary 東京）	24.5×13.5	銅版画（エッチング）	購入
河口龍夫	萌芽	1963年	「河口龍夫 1963年の銅版画より」（2018年 SNOW Contemporary 東京）	27.7×36.4	銅版画（エッチング）	購入
河口龍夫	仮面	1963年	「河口龍夫 1963年の銅版画より」（2018年 SNOW Contemporary 東京）	36.0×19.9	銅版画（エッチング）	購入
河口龍夫	発生	1963年	「河口龍夫 1963年の銅版画より」（2018年 SNOW Contemporary 東京）	12.0×16.8	銅版画（ドライポイント）	購入
河口龍夫	相関	1963年	「河口龍夫　1963年の銅版画より」（2018年 SNOW Contemporary 東京）	10.5×14.5	銅版画（ドライポイント）	購入
河口龍夫	命の時間	1963年	「河口龍夫　1963年の銅版画より」（2018年 SNOW Contemporary 東京）	15.9×10.6	銅版画（エッチング）	購入
河口龍夫	曖昧なこと	1963年	「河口龍夫　1963年の銅版画より」（2018年 SNOW Contemporary 東京）	36.0×19.9	銅版画（エッチング、ドライポイント、アクアチント）	購入
河口龍夫	闇に潜む浮遊物	1963年	「河口龍夫　1963年の銅版画より」（2018年 SNOW Contemporary 東京）	10.6×14.4	銅版画（メゾチント）	購入
河口龍夫	闇からの誕生	1963年	「河口龍夫　1963年の銅版画より」（2018年 SNOW Contemporary 東京）	10.6×14.4	銅版画（メゾチント）	購入
鈴木のぞみ	Other Days, Other Eyes: 村田邸2階北の窓	2018年	「constellation #01」（2020年 rin art association 群馬）	89.7×181.0×2.2	写真乳剤、外されていた窓	購入
田中正	秋の空	2013年	調査中	90.0×116.0	ボールペン、色鉛筆、画用紙	購入
髙橋武	群	1961年頃	「個展」（1961年 文学館画廊 群馬）	127.0×187.5×4.4	岩絵具、紙、木製パネル	寄贈
髙橋武	図	1993年	調査中	131.7×163.8×3.8	水彩絵具、木製パネル	寄贈
髙橋武	畑・田園	2002年	調査中	91.0×72.7	絵具（膠と岩絵具か）、木製パネル（ベニヤ）	寄贈
髙橋武	休耕田	2002年	調査中	130.5×162.0×3.5	岩絵具、木製パネル	寄贈
髙橋武	田園	2005年	調査中	117.0×91.0×3.2	絵具、木製パネル、カンヴァス	寄贈
髙橋武	庭園	1989年	調査中	91.0×72.7	絵具、箔、木製パネル	寄贈
長重之	視床	1983年	調査中	221.0×310.0×4.0	アクリル絵具、スタイロフォーム、木板	寄贈
野村誠	ピアノのための9つの小品「アーツ前橋」（1.春の玉川上水、2.演奏者、3.カサブランカ、4.二人、5.晩夏静寂、6.アルカンタラー橋、7.舗道、8.代々木風景、9.タンプル区の老婆）	2013年	「音色を奏でる絵画たち」（2015年 アーツ前橋 群馬）	可変	楽譜、音	寄贈

作家名	作品名	制作年／発行年	初出展覧会	寸法（縦×横）cm	技法・材質・その他	取得
ワン・ホンカイ	ボロム(風)	2020年	「聴く―共鳴する世界」(2020年 アーツ前橋 群馬)	可変	小冊子、音声ファイル、地図(大型プリント)	寄贈
恩田晃	静まり返った庭―イーストヴィレッジのコミュニティーガーデン、パンデミックの時分	2020年	「聴く―共鳴する世界」(2020年 アーツ前橋 群馬)	可変	ポスター、音声ファイル、写真、大型写真プリント	寄贈
恩田晃	コラージュ・オン・カセット	2020年	「聴く―共鳴する世界」(2020年 アーツ前橋 群馬)	可変	ポスター、音声ファイル、ウォークマン2台、スティッカー	寄贈
小森はるか+瀬尾夏美	飛来の眼には	2020年	「聴く―共鳴する世界」(2020年 アーツ前橋 群馬)	可変	テキスト、冊子、ビデオ、手記	寄贈
小森はるか+瀬尾夏美	砂粒をひろうー Kさんの話していたこととさみしさについて	2013年	「3.11とアーティスト｜進行系の記録」(2012年 水戸芸術館現代美術センター 茨城)	23分00秒	ビデオ	寄贈
小森はるか+瀬尾夏美	波のした、土のうえ	2014年	「記録と想起ーイメージの家を歩くー」(2014年 せんだいメディアテーク 宮城)	68分00秒	ビデオ	寄贈
小森はるか+瀬尾夏美	声の辿り/二重のまち	2017年	「新・今日の作家展2017 キオクのかたち／キロクのかたち」(2017年 横浜市民ギャラリー 神奈川)	21分00秒	ビデオ	寄贈
鈴木のぞみ	Mirrors:割田邸風呂の壁掛け鏡	2017年	「中之条ビエンナーレ2017」(2017年 沢渡別邸 群馬)	61.0×45.7×0.4	使われていた鏡、写真乳剤	寄贈
鈴木のぞみ	Mirrors:割田邸廊下の壁掛け鏡	2017年	「中之条ビエンナーレ2017」(2017年 沢渡別邸 群馬)	44.0×39.0×0.4	使われていた鏡、写真乳剤	寄贈
鈴木のぞみ	Mirrors:剣持邸の壁掛け鏡	2017年	「中之条ビエンナーレ2017」(2017年、沢渡別邸、群馬)	40.0×10.0×2.0	使われていた鏡、写真乳剤	寄贈
鈴木のぞみ	Mirrors:トラヤの置き鏡	2017年	「中之条ビエンナーレ2017」(2017年、沢渡別邸、群馬)	60.0×35.0×20.0	使われていた鏡、写真乳剤	寄贈
加藤アキラ	The Shopping 1	1968年	「第8回現代日本美術展」(1968年 東京都美術館 東京)	200.0×100.2×8.5	アルミニウム、油彩、ワイヤーブラシ、塩化ビニール板	寄贈
加藤アキラ	The Shopping 2	1968年	「第8回現代日本美術展」(1968年 東京都美術館 東京)	183.0×91.3×8.5	アルミニウム、油彩、ワイヤーブラシ、塩化ビニール板	寄贈
田中正	居酒屋(きさく)へのオマージュ	2018年	「第6回連盟展受賞作家展」(2018年 詩季画材2Fギャラリー 群馬)	92.0×118.0	ボールペン、色鉛筆、水彩、画用紙	寄贈
廣瀬智央	無題(ブルードローイング)	2011年	「ケルビーノ」(2013年8月/ART GALLERY/Tomio Koyama Gallery 東京)	20.0×15.5	紙にアクリル、オイルマーカー	寄贈
廣瀬智央	無題(ブルードローイング)	2011年	「ケルビーノ」(2013年8月/ART GALLERY/Tomio Koyama Gallery 東京)	20.0×15.5	紙にアクリル、オイルマーカー	寄贈
廣瀬智央	無題(ブルードローイング)	2011年	「ケルビーノ」(2013年8月/ART GALLERY/Tomio Koyama Gallery 東京)	20.0×15.5	紙にアクリル、オイルマーカー	寄贈
廣瀬智央	無題(ブルードローイング)	2010年	「ケルビーノ」(2013年8月/ART GALLERY/Tomio Koyama Gallery 東京)	20.0×15.5	紙にアクリル、オイルマーカー	寄贈
廣瀬智央	無題(ブルードローイング)	2010年	「ケルビーノ」(2013年8月/ART GALLERY/Tomio Koyama Gallery 東京)	20.0×15.5	紙にアクリル、オイルマーカー	寄贈
廣瀬智央	無題(ブルードローイング)	2010年	「ケルビーノ」(2013年8月/ART GALLERY/Tomio Koyama Gallery 東京)	20.0×15.5	紙にアクリル、オイルマーカー	寄贈
廣瀬智央	無題	2020年	「廣瀬智央 地球はレモンのように青い」(2020年 アーツ前橋 群馬)	可変	紙、テープ、埃、木、ビニール	寄贈
ペ・ヨンファン	オブジェクト／福島のため息1	2012年	「プレイベント Vol.18 作品展示 イメージのさざ波」(2012年、前橋市文化国際課、群馬)	100.0×36.5×10.5	福島で見つけた木片、ギターの部品、パステル	寄贈
ペ・ヨンファン	オブジェクト／福島のため息2	2012年	「プレイベント Vol.18 作品展示 イメージのさざ波」(2012年、前橋市文化国際課、群馬)	57.05×19.5×7.0	福島で見つけた木片、ギターの部品、パステル	寄贈
ケレン・ベンベニスティ	Pictures of the Floating World	2017/2021年	未発表	10分00秒	シングルチャンネルビデオ	寄贈
ペ・ヨンファン	福島のため息	2012年	「プレイベント Vol.18 作品展示 イメージのさざ波」(2012年、前橋市文化国際課、群馬)	15分55秒	シングルチャンネルビデオ、インクジェットプリント	寄贈

2020年度　修復

作者名	作品名	材質・技法	修復者	修復内容	期間
大澤竹胎	一二三	紙本墨書	清心堂 鈴木表装店	マット張替、本紙洗浄、縁制作	2020年7月20日(月)～10月31日(土)
大澤竹胎	雨二モマケズ	紙本墨書	清心堂 鈴木表装店	マット張替、本紙洗浄、縁制作	2020年7月20日(月)～10月31日(土)
大澤竹胎	山かひの	紙本墨書	清心堂 鈴木表装店	マット張替、本紙洗浄、縁制作	2020年7月20日(月)～10月31日(土)
田中朝庸	パニックはいらない	油彩、カンヴァス	有限会社修復研究所21	調査記録、洗浄、耳補強、防黴・殺菌、木枠	2020年8月8日(土)～2021年8月23日(月)
田中朝庸	愛と死とに	油彩、カンヴァス	有限会社修復研究所21	調査記録、洗浄、耳補強、防黴・殺菌、木枠	2020年8月8日(土)～2021年8月23日(月)
塩原友子	山と木	紙本着彩	有限会社修復研究所21	調査記録、乾式洗浄、破損部接着、補彩、額縁・裏蓋	2020年8月8日(土)～2021年8月23日(月)
塩原友子	鏡の前	紙本着彩	有限会社修復研究所21	調査記録、乾式洗浄、破損部接着、額縁・裏蓋	2020年8月8日(土)～2021年8月23日(月)
塩原友子	水辺の樹	油彩、カンヴァス	有限会社修復研究所21	調査記録、浮き上がり接着、固着強化、乾式洗浄、補彩	2020年8月8日(土)～2021年8月23日(月)
塩原友子	上野毛	油彩、カンヴァス	有限会社修復研究所21	調査記録、浮き上がり接着、固着強化、乾式洗浄、額縁・裏蓋	2020年8月8日(土)～2021年8月23日(月)
塩原友子	時を紡ぐ	油彩、カンヴァス	有限会社修復研究所21	調査記録、浮き上がり接着、固着強化、乾式洗浄、充填整形、補彩	2020年8月8日(土)～2021年8月23日(月)
塩原友子	獣	岩彩、紙	茂木康一	額欠損部の補填	2020年11月1日(日)～11月30日(月)
塩原友子	貝	岩彩、紙	茂木康一	額欠損部の補填	2020年11月1日(日)～11月30日(月)

2020年度　貸出実績

作者名	作品名	展覧会名／会場	会期
中村節也	尾瀬の花	前橋テルサ	2020年4月1日(水)～2021年3月31日(水)
中村節也	アルハンブラ宮殿(スペイン)	前橋テルサ	2020年4月1日(水)～2021年3月31日(水)
深谷徹	赤城山夏	前橋テルサ	2020年4月1日(水)～2021年3月31日(水)
中村節也	某国初期パラシューター	「ヒコーキと美術」／横須賀美術館	2021年2月6日(土)～4月11日(日)

2020年度　収蔵図書

区分	冊数
図書	2, 143
展覧会カタログ	3, 785
逐次刊行物	4, 938
映像資料	33
合計	10, 899

VI

運営／各事業に関する資料

アーツ前橋条例

○アーツ前橋の設置及び管理に関する条例

平成25年6月25日
条例第35号

（設置）
第１条　美術を中心とした多様な表現活動を広く市民に紹介し、芸術文化を通じた交流の場を提供するとともに、質の高い芸術文化事業の運営を市民参画により実現し、もって未来へ向けた創造と魅力あるまちづくりを市民とともに推進するため、本市にアーツ前橋を設置する。

（名称及び位置）
第２条　アーツ前橋の名称及び位置は、次のとおりとする。
(1)　名称　アーツ前橋
(2)　位置　前橋市千代田町五丁目1番16号

（事業）
第３条　アーツ前橋は、次に掲げる事業を行う。
(1)　芸術文化に関する作品その他芸術文化に関する資料（以下「作品等」という。）の収集、保管、展示及び閲覧に関すること。
(2)　作品等の利用に関し、必要な助言及び指導を行うこと。
(3)　作品等に関する調査、研究及び情報交換を行うこと。
(4)　多様な芸術に関する展覧会、講演会、公演、研究会等を行うこと。
(5)　芸術に関する案内書、解説書、年報、調査報告書等を作成し、及び頒布を行うこと。
(6)　前各号に掲げるもののほか、アーツ前橋の設置の目的を達成するために必要なこと。

（企画等を行う組織）
第４条　アーツ前橋に市民参画により芸術文化事業の企画、運営及び評価を行うための組織を置く。
２　前項の組織に関し必要な事項は、市長が別に定める。

（職員）
第５条　アーツ前橋に館長、学芸員その他必要な職員を置く。

（観覧料）
第６条　アーツ前橋に展示されている作品等を観覧しようとする者（第8条において「観覧者」という。）は、観覧の際、別表に定める観覧料を納付しなければならない。

（特別利用）
第７条　学術研究等のため、アーツ前橋に展示され、又は所蔵されている作品等を閲覧、撮影、模写、模造等（以下これらを「特別利用」という。）をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。
２　市長は、アーツ前橋の管理上必要があると認めるときは、前項の規定による特別利用の許可に際し、条件を付することができる。

（利用等の制限）
第８条　市長は、観覧者又は特別利用をする者（以下「利用者等」という。）が、次の各号のいずれかに該当するときは、アーツ前橋の観覧若しくは特別利用を中止させ、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

(1)　公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認められるとき。
(2)　アーツ前橋の施設、附属設備（第11条において「施設等」という。）又は作品等を汚損、破損又は亡失するおそれがあると認められるとき。
(3)　その他管理上の支障があると認められるとき。
２　市長は、入館者（利用者等を除く。）が前項各号のいずれかに該当するときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

（観覧料の不還付）
第９条　納付した観覧料は、還付しない。ただし、利用者等の責めに帰することができない理由により観覧することができなくなったときは、この限りでない。

（観覧料の減免）
第10条　市長は、特別な理由があると認めるときは、観覧料を減額し、又は免除することができる。

（損害賠償）
第11条　利用者等は、作品等や施設等を汚損し、破損し、又は亡失したときは、原状に回復しなければならない。ただし、原状に回復することができないときは、市長の認定する額を賠償しなければならない。

（委任）
第12条　この条例の施行に関し必要な事項は、市規則で定める。

附則
１　この条例は、平成25年7月1日から施行する。
２　アーツ前橋の観覧料は、第6条の規定にかかわらず、平成25年10月25日までの間は、無料とする。

別表（第６条関係）

区　　分		観覧料（１人１回につき）	
		個　人	団　体
常設の展示を行っている場合	一般・大学生	１００円	８０円
	小学生・中学生・高校生	無料	
特別の企画による展示を行っている場合		１，５００円以内で市長が定める額	

摘要
１　「一般・大学生」とは、「小学生・中学生・高校生」及び小学校に就学するまでの者以外の者をいう。
２　「小学生・中学生・高校生」とは、19歳未満の者のうち、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校若しくは特別支援学校に在学する児童若しくは生徒又はこれらに準ずる者をいう。
３　小学校に就学するまでの者は、無料とする。
４　団体とは、10人以上のものをいう。

アーツ前橋運営評議会

【 委　員 】

	氏名（五十音順）	所　属
委　員	片　倉　正　彦	元・前橋文化推進会議委員
委員長	小　島　秀　薫	前橋商工会議所組織運営委員長
委　員	佐々木　吉　晴	いわき市立美術館／宇都宮美術館　館長
委　員	瀬　谷　ルミ子	国際協力NGO理事長
副委員長	友　岡　邦　之	高崎経済大学地域政策学部教授
委　員	長谷川　秀　子	粕川地区地域づくり協議会食部会　部会長
委　員	間々田　　博	前橋市立東小学校校長
委　員	黛　　若　葉	アドベンチャー集団Do！／榛名湖オートキャンプ場
委　員	水　沢　　勉	神奈川県立近代美術館館長
委　員	結　城　　恵	群馬大学大学教育・学生支援機構　大学教育センター教授

2021年3月31日現在

【開 催 記 録】

回	日　程	時　間	場　所	内　容
第26回	7月13日（月）	13:30～15:30	前橋市中央公民館 507学習室	・新型コロナウイルス対策について ・臨時休館中の対応について ・令和元年度決算見込みについて ・令和元年度入館実績について ・令和元年度事業評価について ・令和２年度事業変更案について
第27回	12月14日（月）	13:30～15:30	アーツ前橋1階スタジオ（オンライン併用開催）	・事業の実施結果について ・事業の進捗状況について ・令和3年度スケジュールについて
第28回	3月22日（月）	13:30～15:30	アーツ前橋1階スタジオ（オンライン併用開催）	・事業の実施結果（進捗状況含む）について ・令和2年度前橋市収蔵美術品専門委員会の結果について ・令和3年度事業について

【設 置 要 綱】（設置）

第１条　アーツ前橋の運営方針や事業計画について意見を聴くため、アーツ前橋運営評議会（以下「評議会」という。）を設置する。

（組織）

第２条　評議会は、委員10人以内で組織する。

２　委員は、識見を有する者のうちから市長が委嘱する。

（任期）

第３条　委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長及び副委員長）

第４条　評議会に委員長及び副委員長各１人を置き、委員の互選により定める。

２　委員長は、会務を総括し、評議会を代表する。

３　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第５条　評議会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

２　評議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

３　評議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

（意見の聴取等）

第６条　評議会は、必要があると認めたときは、評議会の会議に関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

（庶務）

第７条　評議会の庶務は、アーツ前橋において行う。

（その他）

第８条　この要綱に定めるもののほか、評議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附則

この要綱は、平成25年7月1日から施行する。

この要綱は、平成27年6月16日から施行する。

収蔵美術品専門委員会

【 委　員 】

氏　名（順不同）	所　属
染谷　滋	元富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館長
野地　耕一郎	泉屋博古館分館長
武居　利史	府中市美術館　教育普及担当主査
大越　久子	埼玉県立近代美術館　主席学芸主幹

【開 催 記 録】

日　程	時　間	場　所
1月27日（水）	13:00～17:30	アーツ前橋2階 会議室ほか

【設 置 要 綱】

（設置）
第１条　前橋市の所蔵美術品等（以下「美術品」という。）を適正に取得・収蔵するため、前橋市収蔵美術品専門委員会（以下「専門委員会」という。）を置く。

（審議事項）
第２条　専門委員会は、市長の諮問に応じて、次に掲げる事項を審議する。
（1）美術品の評価に関すること。
（2）美術品の選定に関すること。
（3）その他美術に係る専門的事項に関すること。

（組織及び委員）
第３条　専門委員会は、4人以内の委員をもって組織する。
２　委員は、美術に関する専門的知識を有する者とし、市長が委嘱する。
３　委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。
４　市長は、必要があるときは専門的分野の案件に関して審議するため、臨時委員を委嘱することができる。

（委員長）
第４条　専門委員会に委員長を置く。
２　委員長は、会務を総理し、審議の結果を市長に報告する。
３　委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

（会議）
第５条　会議は、必要に応じ、委員長が招集する。

（部会）
第６条　委員会に、必要に応じて部会を置くことができる。

（守秘義務）
第７条　委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。

（庶務）
第８条　専門委員会の庶務は、前橋市文化スポーツ観光部文化国際課アーツ前橋において行う。

（雑則）
第９条　この要綱に定めるもののほか、専門委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が専門委員会に諮って定める。

附　則
この要綱は、平成19年7月1日から施行する。
附　則
この要綱は、平成26年1月1日から施行する。
附　則
この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

来館者数統計

アーツ前橋総来館者数	48,594

2020年度月別来館者数

年月	来館者数（A）＝（C）＋（D）＋（B）＋（E）＋（F）＋（H）＋（I）										開館日数		
		展覧会観覧者数（C）＋（D）				館外イベント参加者数（B）	交流スペース（E）	アーカイヴ（F）	カフェ（H）	ショップ（I）		展覧会開催日数	
			展示室（C）		展示室外イベント（D）								有料展覧会
				（内）有料展示室									
2020年4月	383	0	0	(0)	0	0	0	0	383	0	0	0	0
5月	433	0	0	(0)	0	0	0	0	433	0	0	0	0
6月	6,567	2,755	2,755	(2,576)	0	8	1,318	0	977	1,509	26	26	26
7月	8,736	4,206	4,206	(3,872)	0	55	797	730	1,038	1,910	26	26	22
8月	3,733	527	527	(0)	0	86	1,553	127	726	714	27	27	0
9月	3,886	479	479	(0)	0	127	1,747	0	730	803	25	25	0
10月	4,162	513	513	(0)	0	210	1,879	0	781	779	27	20	0
11月	4,999	913	913	(0)	0	190	2,320	0	756	820	26	26	0
12月	3,916	912	912	(572)	0	118	1,464	0	686	736	23	23	14
2021年 1月	2,943	684	684	(584)	0	5	1,218	0	540	496	23	23	23
2月	4,195	782	782	(602)	0	96	1,719	0	699	899	24	24	24
3月	4,641	795	795	(647)	0	158	1,829	132	791	936	26	18	18
合　計	48,594	12,566	12,566	(8,853)	0	1,053	15,844	989	8,540	9,602	253	238	127

展覧会別観覧者数

展覧会名	会　　期	開催日数（日）	観覧者数（人）		
			展示室	展示室外イベント	合計
廣瀬智央　地球はレモンのように青い	令和2年6月1日～7月26日	48	6,448	0	6,448
糸の記憶 アーツ前橋所蔵作品から	令和2年6月1日～10月21日	116	8,179	0	8,179
場所の記憶　想起する力	令和2年10月22日～令和3年3月21日	124	4,387	0	4,387
聴くー共鳴する世界	令和2年12月12日～令和3年3月21日	79	2,405	0	2,405
合　　計			21,419	0	21,419

刊行物

□&Arts　アンドアーツ
第19号　令和2年12月発行
A1判　変形折り(仕上がりA4判縦)2,000部
第20号　令和3年3月発行
A1判　変形折り(仕上がりA4判縦)2,500部

□アーツ前橋　年報No.07　2019年度(令和元年度)
A4判　84頁　250部

職員名簿（令和2年4月1日から令和3年3月31日）

館　長	住友　文彦
副館長	徳野　裕一
副主幹	堺　大輔
主　任	小屋　綾子
主　任	狩野　良輔
主　事	髙山　あずさ
学芸員	辻　瑞生
学芸員	今井　朋
学芸員	五十嵐　純
学芸員	吉田　絵美
学芸員	北澤　ひろみ
学芸員	池上　朋
学芸員	大井田　弘子
学芸員	井上　康彦　　10月1日から
学芸員	新井　陽子　　11月24日から
嘱託員	宇田　春菜

展覧会出品リスト

展覧会出品リスト

廣瀬智央　地球はレモンのように青い

NO.	作家名	作品名	制作年	技法・材質・その他	寸法（縦×横：cm）	所蔵
1	廣瀬智央	アルレッキーノ	1998年	布、釣糸	2.0×260.0×280.0	パオロ・サボーナ・コレクション
2	廣瀬智央	無題	2020年	紙、テープ、埃、木、ビニール	サイズ可変	作家蔵
3	廣瀬智央	無題	1997年	テラコッタ粘土、釣り糸、スチール	270.0×12.0×12.0	作家蔵
4	廣瀬智央	地球はオレンジの実のように青い	2017(2008)年	モノクロプリント	20.0×30.5	作家蔵
5	廣瀬智央	無題(豆の神話学)	2008年	豆、アクリル樹脂、大理石	290.0×40.0×70.0	作家蔵
6	廣瀬智央	ボッカ・ドーロ	1993年	大理石、蜜蝋、本金箔、洋金箔	10.0×10.0×10.0	アントネッラ・ニコーラ氏蔵
7	廣瀬智央	無題(セルフポートレート)	1991年	カラープリント	25.0×30.0	個人蔵
8	廣瀬智央	ワールド・マップ	1991年	地図	8.5×8.5×8.5	個人蔵
9	廣瀬智央	無題(鳥の眼_02)	2003年	ガラス球、巣、金、紙	9.5×10.0×10.0	個人蔵
10	廣瀬智央	無題	1992年	テラコッタ、色、鉛筆、地図	8.0×19.5×19.5	Sugita Motohiro 氏蔵
11	廣瀬智央	無題	1992年	紙箱、ゴムボール、プラスチック、大豆、アルミニウム、紙、色	3.0×9.0×14.0	個人蔵
12	廣瀬智央	無題	1992年	段ボールにペイント	20.0×16.0	個人蔵
13	廣瀬智央	種団子	2020年	土、種	サイズ可変	作家蔵
14	廣瀬智央	ロンリープラネット	2010年	ワックス、豆	11.0×18.0×18.0	作家蔵
15	廣瀬智央	無題(格言と家族 ー Gnomi e Famiglie)	1993年	新聞、スチレンフォーム、紙	Φ12	作家蔵
16	廣瀬智央	ビーンズコスモス(タマ)	2016年	アクリル樹脂、地図、プラスチック、豆、金、ビーズ、ガラスビーズ、モミジバフウの実	Φ10	作家蔵
17	廣瀬智央	無題(タマ)	2015(1992-2015)年	紙	サイズ可変	作家蔵
18	廣瀬智央	無題(ブルードローイング)	2011年	紙にアクリル、オイルマーカー	20.0×15.5	作家蔵
19	廣瀬智央	無題(ブルードローイング)	2011年	紙にアクリル、オイルマーカー	20.0×15.5	作家蔵
20	廣瀬智央	無題(ブルードローイング)	2012年	紙にアクリル、オイルマーカー	20.0×15.5	作家蔵
21	廣瀬智央	無題(ブルードローイング)	2012年	紙にアクリル、オイルマーカー	20.0×15.5	作家蔵
22	廣瀬智央	無題(ブルードローイング)	2010年	紙にアクリル、オイルマーカー	20.0×15.5	作家蔵
23	廣瀬智央	無題(ブルードローイング)	2011年	紙にアクリル、オイルマーカー	20.0×15.5	作家蔵
24	廣瀬智央	無題(ブルードローイング)	2011年	紙にアクリル、オイルマーカー	20.0×15.5	作家蔵
25	廣瀬智央	無題(ブルードローイング)	2012年	紙にアクリル、オイルマーカー	20.0×15.5	作家蔵
26	廣瀬智央	無題(ブルードローイング)	2011年	紙にアクリル、オイルマーカー	20.0×15.5	作家蔵
27	廣瀬智央	無題(ブルードローイング)	2011年	紙にアクリル、オイルマーカー	20.0×15.5	作家蔵
28	廣瀬智央	無題(ブルードローイング)	2011年	紙にアクリル、オイルマーカー	20.0×15.5	作家蔵
29	廣瀬智央	無題(ブルードローイング)	2011年	紙にアクリル、オイルマーカー	20.0×15.5	作家蔵
30	廣瀬智央	無題(ブルードローイング)	2011年	紙にアクリル、オイルマーカー	20.0×15.5	作家蔵
31	廣瀬智央	無題(ブルードローイング)	2011年	紙にアクリル、オイルマーカー	20.0×15.5	作家蔵
32	廣瀬智央	無題(ブルードローイング)	2011年	紙にアクリル、オイルマーカー	20.0×15.5	作家蔵
33	廣瀬智央	無題(ブルードローイング)	2011年	紙にアクリル、オイルマーカー	20.0×15.5	作家蔵
34	廣瀬智央	前橋市	2020年	鉄板	0.15×120.0×92.0	作家蔵
35	廣瀬智央	レモンプロジェクト03	1997(2020)年	レモン、ガラス、ステンレス、ペイント、エッセンシャルレモンオイル	サイズ可変	作家蔵
36	廣瀬智央	心の眼	2011年	カラープリント	26.0×46.0	作家蔵
37	廣瀬智央	ビーンズコスモス	2013年	アクリル樹脂、地図、プラスチック、豆、金、ビーズ、ガラスビーズ、ナッツ、キンカンの果実	25.0×25.0×25.0	作家蔵
38	廣瀬智央	ある夜の旅	2020年	ピュアピグメントプリント、アルポリックにマウント	1.8×29.8×29.8 125点	作家蔵
39	廣瀬智央	瞑想の庭	2008年	苔、土、電球、プレート、ワイヤー、電線	40.0×70.0×70.0	作家蔵
40	廣瀬智央	無題(家)ー路上シリーズ	1991年-	カラープリント	30.0×40.0 12点	マリア・グラツィア・デル・プレテ・コレクション
41	廣瀬智央	石鹸の家	2004年	ガラス、石鹸	30.0×50.0×25.0	イ・コートロネオ・コレクション、ローマ
42	廣瀬智央	ハーレクイーンの家(アルレッキーノの家)	2013年	ハーレクーンロマンス文庫本	9.0×17.2×10.0	作家蔵
43	廣瀬智央	ペペロンチーノの家(グリーン)	2004年	木材、ガラス、アルミニウム、塗料、赤唐辛子	80.0×43.0×33.0	作家蔵
44	廣瀬智央	ペペロンチーノの家(イエロー)	2004年	木材、ガラス、アルミニウム、塗料、赤唐辛子	80.0×43.0×33.0	作家蔵
45	廣瀬智央	ペペロンチーノの家(レッド)	2004年	木材、ガラス、アルミニウム、塗料、赤唐辛子	80.0×43.0×33.0	ピエトロ・モナリス・コレクション
46	廣瀬智央	蜜蝋の家	2003年	木、ワイヤー、鉄、蜜蝋、ガラス、梯子、蜂の巣	275.0×205.0×237.0	作家蔵
47	廣瀬智央	「私は家を建てた 」シリーズ	1995-1998年	紙幣	サイズ可変	個人蔵
48	廣瀬智央	「私は家を建てた 」シリーズ	1995-2004年	紙幣	サイズ可変	森司氏蔵
49	廣瀬智央	ペペロンチーノの家	2004年	アルミ製ポータブルバッグ、ガラス、木、唐辛子	34.5×34.0×32.0	作家蔵
50	廣瀬智央	ローズマリーの家	2004年	アルミ製ポータブルバッグ、ガラス、木、ローズマリー	34.5×34.0×32.0	作家蔵
51	廣瀬智央	ターメリックの家	2004年	アルミ製ポータブルバッグ、ガラス、ターメリック、木	34.5×34.0×32.0	作家蔵
52	廣瀬智央	塩の家	1994年	塩、砂糖、大理石、紙、木	9.5×30.0×16.5	作家蔵
53	廣瀬智央	島：9年目の存在	2011-2002年	ミクストメディア	105.0×310.0×180.0	作家蔵
54	廣瀬智央	無題(ギャラクシーストーン)	1995年	石、蜜蝋、洋金箔、本金箔	4.5×32.0×32.0	作家蔵
55	廣瀬智央	西洋の島	1993年	大理石、苔、土	7.0×60.0×40.0	作家蔵
56	廣瀬智央	ビーンズコスモス(タマ)	2017年	アクリル樹脂、造花、豆、金、ダイヤモンド、プラスチック	Φ22	作家蔵

NO.	作家名	作品名	制作年	技法・材質・その他	寸法（縦×横：cm）	所蔵
57	廣瀬智央	ビーンズコスモス（タマ）	2017年	アクリル樹脂、造花、豆、金、ダイアモンド、プラスチック	Φ22	作家蔵
58	廣瀬智央	フォレストボール	2020年	造花、木、結束バンド、スチール、金具、ワイヤー	250.0×250.0×250.0	作家蔵
59	廣瀬智央	ビーンズコスモス（タマ）	2016年	アクリル樹脂、地図、豆、水晶、金、プラスチック、ビー玉、乾燥キンカンの実、モミジバフウの実	Φ18	作家蔵
60	廣瀬智央	無題	1993/2011年	葉、鉛ガラス、結晶、碧玉、玄武岩、ヒスイ	3.0×3.0×3.0、4.5×4.5×4.5、7.0×7.0×7.0、5.0×5.0×5.0、4.5×4.5×4.5	作家蔵
61	廣瀬智央	呼吸01	1992/2020年	植物の葉	サイズ可変	作家蔵
62	廣瀬智央	ウェルトゥムヌス	2008年	ベルファスト産黒石、花、水、木	13.0×120.0×100.0	作家蔵
63	廣瀬智央	無題	2008年	顔料、豆、ワックス、樹脂、木製パネル	250.0×250.0×6.0	作家蔵
64	廣瀬智央	無題	2008年	顔料、豆、ワックス、樹脂、木製パネル	250.0×250.0×6.0	作家蔵
65	廣瀬智央	ビーンズコスモス（タマ）	2017年	アクリル樹脂、金、ダイヤモンド、プラスティック、ビー玉、モミジバフウ、木の実、地図	Φ18	作家蔵
66	廣瀬智央	ブルーボックス	2005年	アクリル樹脂、紙、オリジナル写真、オリジナルコラージュ付き写真集、ドローイング、ラピスラズリなど	14.3×27.3×19.3	作家蔵
67	廣瀬智央	無題（ブルーボックス　ドローイング）	2004年	紙にインク、色鉛筆	12.2×14.9	作家蔵
68	廣瀬智央	無題（ブルーボックス　ドローイング）	2004年	紙にインク、色鉛筆	21.0×29.7	作家蔵
69	廣瀬智央	ブルーボックス	2005年	アクリル樹脂、紙、オリジナル写真、オリジナルコラージュ付き写真集、ドローイング、ラピスラズリなど	14.3×27.3×19.3	作家蔵
70	廣瀬智央	ブルーボックス　プランニングシート	2005年	紙に色鉛筆、鉛筆	29.7×21.0 3点	個人蔵
71	廣瀬智央	メイルプロジェクト015	2020年	ミクストメディア	サイズ可変	作家蔵
72	廣瀬智央	堕ちた天使	1998年	ガラス、樹脂、アロマ、スチール、木	185.0×250.0×60.0	作家蔵
73	廣瀬智央	マーレロッソ（ノットーホール）／プロジェクトA.P.O.	1998年	ペルシャン・ギャッベ	194.4×604.0 6点	作家蔵
74	廣瀬智央	ヴィアッジョ	2001-2016年	ラムダプリント、アルポリック、アクリル、ポラロイド	サイズ可変	アーツ前橋
75	廣瀬智央	バンコク 2004	2016年	ラムダプリント、アルポリック、アクリル	120.0×180.0	アーツ前橋
76	廣瀬智央	ベルリン 2004	2006年	ラムダプリント、アルポリック、アクリル	50.0×75.0	アーツ前橋
77	廣瀬智央	広島　2000	2006年	カラープリント、アルポリック	20.0×30.0	アーツ前橋
78	廣瀬智央	ボルドー 1993	2006年	カラープリント、アルポリック	20.0×30.0	アーツ前橋
79	廣瀬智央	ミラノ 2002	2006年	ラムダプリント、アルポリック、アクリル	50.0×75.0	アーツ前橋
80	廣瀬智央	地中海 2000	2006年	カラープリント、アルポリック	20.0×30.0	アーツ前橋
81	廣瀬智央	香港 1993	2006年	カラープリント、アルポリック	20.0×30.0	アーツ前橋
82	廣瀬智央	リスボン 1993	2006年	カラープリント、アルポリック	20.0×30.0	アーツ前橋
83	廣瀬智央	大西洋 1999	2006年	カラープリント、アルポリック	20.0×30.0	アーツ前橋
84	廣瀬智央	スイス・アルプス 2004	2006年	カラープリント、アルポリック	20.0×30.0	アーツ前橋
85	廣瀬智央	ロンドン 1991	2006年	ラムダプリント、アルポリック、アクリル	50.0×75.0	アーツ前橋
86	廣瀬智央	太平洋 2001	2006年	カラープリント、アルポリック	20.0×30.0	アーツ前橋
87	廣瀬智央	ナポリ 2002	2006年	カラープリント、アルポリック	20.0×30.0	アーツ前橋
88	廣瀬智央	インド洋 2002	2006年	カラープリント、アルポリック	20.0×30.0	アーツ前橋
89	廣瀬智央	ミラノ 2001	2001年	ポラロイド	5.0×8.0 11点1組	アーツ前橋
90	廣瀬智央	大西洋 1999	2006年	カラープリント、アルポリック	20.0×30.0	アーツ前橋
91	廣瀬智央	南シナ海 2004	2004年	ラムダプリント、アルポリック、アクリル	49.0×74.0	アーツ前橋
92	廣瀬智央	ミラノ 2003	2006年	カラープリント、アルポリック	20.0×30.0	アーツ前橋
93	廣瀬智央	シエナ1994	2006年	カラープリント、アルポリック	20.0×30.0	アーツ前橋
94	廣瀬智央	前橋 2013	2016年	カラープリント、アルポリック	20.0×30.0	アーツ前橋
95	廣瀬智央	空のプロジェクト「遠い空、近い空」	2012-2013年	ミクストメディア	サイズ可変	アーツ前橋
96	廣瀬智央、後藤朋美	タイムカプセルプロジェクト	2016-2035年	ミクストメディア	サイズ可変	作家蔵、後藤朋美氏蔵、アーツ前橋

糸の記憶　アーツ前橋所蔵作品から

NO.	作家名	作品名	制作年	技法・材質・その他	寸法（縦×横：cm）	所蔵
1	中村節也	弾琴	1972年	油彩、カンヴァス	97.4×194.4	アーツ前橋
2	福田貂太郎	小景構想	1985年	油彩、カンヴァス	80.2×99.8	アーツ前橋
3	中村節也	インディアンの子供	1961年	油彩、カンヴァス	45.5×38.0	アーツ前橋
4	髙橋常雄	クマリ夢幻	1981年	紙本彩色	147.3×72.7	アーツ前橋
5	髙橋常雄	ラト・マチェンドラ祭の灯	1979年	紙本彩色	200.2×170.6	アーツ前橋
6	Form on Words	アーツ前橋ユニフォーム	—	—	—	アーツ前橋
7	南城一夫	ピエロ	1958年	油彩、カンヴァス	45.6×38.2	アーツ前橋
8	中村節也	婦人像（手鏡の婦人）	1927年	油彩、カンヴァス	116.6×90.8	アーツ前橋
9	田村清男	緋色の装い	1986年	水彩、紙	90.0×71.5	アーツ前橋

NO.	作家名	作品名	制作年／プリント年	技法・材質・その他	寸法（縦×横：cm）	所蔵
10	清水刀根	舗道	1933年	油彩、カンヴァス	162.2×130.5	アーツ前橋
11	正田壤	虹の空	不詳	油彩、カンヴァス	100.0×80.0	アーツ前橋
12	久保繁造	或る日	1979年	油彩、カンヴァス	162.3×112.3	アーツ前橋
13	田中青坪	S婦人	1959年	紙本彩色	161.2×111.0	アーツ前橋
14	中村節也	日本の舞	1971年	油彩、カンヴァス	97.3×193.9	アーツ前橋
15	ワプケ・フェーンストラ	農場主たちと牧場主たち（ハンズ・オン-2017）	2017年	アルミ複合版にインクジェットプリント、映像、Tシャツ	62.0×90.0	アーツ前橋
16	田中恒	農夫の歌II	1974年	油彩、カンヴァス	162.4×130.6	アーツ前橋
17	横堀角次郎	農家	1971年	油彩、カンヴァス	32.0×41.2	アーツ前橋
18	伊藤三枝	憩う	2004年	木彫木目込	34.0×15.0×12.0	アーツ前橋
19	ケレン・ベンベニスティ	ハーフライフ	2017-2018年	4チャンネルビデオ、サウンドインスタレーション	可変	作家蔵
20	髙橋常雄	お蚕様	1971年	紙本彩色	100.2×100.2	アーツ前橋
21	髙橋常雄	桑原	1985年	紙本彩色	97.1×162.1	アーツ前橋
22	平野薫	untitled-jacket-	2008年	ジャケット	サイズ可変	アーツ前橋
23	白川昌生	サチ子の夢	2002年	アクリル、キャンバス、ゼラチンシルバープリント、布、ボディ	サイズ可変	アーツ前橋
24	石内都	絹の夢 ＃1 桐生 2011	2014年	発色現像方式印画（タイプCプリント）	111.0×74.0	アーツ前橋
	石内都	絹の夢 ＃4 桐生 2011	2012年	発色現像方式印画（タイプCプリント）	111.0×74.0	アーツ前橋
	石内都	絹の夢 ＃6 桐生 2011	2014年	発色現像方式印画（タイプCプリント）	151.0×100.0	アーツ前橋
	石内都	絹の夢 #35 秩父 2011	2012年	発色現像方式印画（タイプCプリント）	46.0×31.5	アーツ前橋
	石内都	絹の夢 #50 桐生 2011	2012年	発色現像方式印画（タイプCプリント）	74.0×111.0	アーツ前橋
	石内都	絹の夢 #72 安中 2011	2014年	発色現像方式印画（タイプCプリント）	46.0×31.5	アーツ前橋
	石内都	絹の夢 #21 桐生 2011	2012年	発色現像方式印画（タイプCプリント）	151.0×100.0	アーツ前橋
	石内都	絹の夢 #58 桐生 2011	2012年	発色現像方式印画（タイプCプリント）	111.0×74.0	アーツ前橋
	石内都	絹の夢 #72 安中 2011	2014年	発色現像方式印画（タイプCプリント）	31.5×46.0	アーツ前橋
	石内都	絹の夢 #101 桐生 2011	2012年	発色現像方式印画（タイプCプリント）	31.5×46.0	アーツ前橋
25	木暮伸也	景織 001	2011年	インクジェットプリント（2枚の写真による編みこみ）	78.5×119.0cm	アーツ前橋
	木暮伸也	景織 002	2011年	インクジェットプリント（2枚の写真による編みこみ）	78.5×119.0cm	アーツ前橋
	木暮伸也	景織 003	2011年	インクジェットプリント（2枚の写真による編みこみ）	78.5×119.0cm	アーツ前橋
	木暮伸也	景織_shimomasuda	2011年	インクジェットプリント（2枚の写真による編みこみ）	72.7×51.5cm	アーツ前橋
	木暮伸也	景織_higashizen	2011年	インクジェットプリント（2枚の写真による編みこみ）	72.7×51.5cm	アーツ前橋

場所の記憶　想起する力

NO.	作家名	作品名	制作年	技法・材質・その他	寸法（縦×横：cm）	所蔵
1	福田貂太郎	岡源	1972年	墨、顔彩、和	50.0×60.5	ハラサワコレクション
2	水谷俊博建築設計事務所	前橋市美術館(仮称) プロポーザルコンペティション応募案	2011年	—	—	アーツ前橋
3	福田貂太郎	噴水の繪	1978年	油彩、カンヴァス	62.8×91.0	アーツ前橋
4	木暮伸也	鏡田_080726	2008年	インクジェットプリント	101.5×143.5	アーツ前橋
5	木暮伸也	鏡田_140627_002	2014年	インクジェットプリント	101.2×143.5	アーツ前橋
6	木暮伸也	鏡田_120702	2012年	インクジェットプリント	101.5×143.5	アーツ前橋
7	山口薫	沼のある牧場	1964年	油彩、カンヴァス	105.6×255.5	アーツ前橋
8	津上みゆき	View, a cherry tree,4-12 Nov.2019	2019年	顔料、アクリル、その他、カンヴァス	194.0×194.0	アーツ前橋
9	伊藤存	みえない土地の建築物／前橋	2013年	布に刺繍	115.0×85.0、76.0×55.0 115.0×80.0、145.0×85.0（4点1組）	アーツ前橋
10	伊藤存	みえない土地の建築物／前橋のためのドローイング	2013年	鉛筆、紙	28.0×21.0 26点 36.4×25.7 11点	アーツ前橋
11	幸田千依	水路はつづくよどこまでも	2014年	アクリル、油彩、カンヴァス	194.0×324.0	アーツ前橋
12	増田拓史	前橋食堂	2013-2014年	—	—	作家蔵
13	岩崎孝	黒い家々（足尾）	1975-1976年	油彩、カンヴァス	72.5×91.0	アーツ前橋
14	近藤嘉男	足尾風景	1950年	水彩、紙	50.3×35.5	アーツ前橋
15	石内都	ひろしま #21 Donor.Segawa,M	2007／2018年	発色現像方式印画	108.0×74.0	アーツ前橋
16	石内都	ひろしま #43 Donor.Yamane,S	2007／2018年	発色現像方式印画	95.5×74.0	アーツ前橋
17	石内都	ひろしま #46 Donor.Kubotaka,S	2007／2018年	発色現像方式印画	108.0×74.0	アーツ前橋
18	石内都	ひろしま #61 Donor.Harada,A	2007／2018年	発色現像方式印画	23.0×33.5	アーツ前橋
19	石内都	ひろしま #98 Donor.Yokoyama,S	2007／2018年	発色現像方式印画	23.0×33.5	アーツ前橋
20	石内都	ひろしま #106 Donor.Hashimoto,H	2016／2018年	発色現像方式印画	108.0×74.0	アーツ前橋
21	石内都	ひろしま #52F Donor.Hara,T	2014／2018年	発色現像方式印画	23.0×33.5	アーツ前橋
22	小見辰男	前橋戦災スケッチ：萩町丸ト製糸付近	1945年	鉛筆、色鉛筆、紙	15.4×20.9	前橋市立図書館

NO.	作家名	作品名	制作年	技法・材質・その他	寸法（縦×横：cm）	所蔵
23	小見辰男	前橋戦災スケッチ：焼け残った消防ポンプ萩町丸ト製糸付近	1945年	鉛筆、パステル、紙	11.5×19.0	前橋市立図書館
24	小見辰男	前橋戦災スケッチ：妙安寺境内 中央の建物は麻屋デパート	1945年	鉛筆、水彩、紙	16.6×22.6	前橋市立図書館
25	小見辰男	前橋戦災スケッチ：右、北川病院の焼トタンの塀、左、田中医院、正面、土蔵の手前は阿部善太郎氏宅跡	1945年	鉛筆、水彩、紙	18.0×20.7	前橋市立図書館
26	小見辰男	前橋戦災スケッチ：北代田大岸工場焼跡	1945年	鉛筆、パステル、紙	15.0×19.5	前橋市立図書館
27	小見辰男	前橋戦災スケッチ：東電の南から前橋カトリック教会を望む 教会右に見えるのは群馬会館	1945年	インク、パステル、紙	12.6×21.0	前橋市立図書館
28	小見辰男	前橋戦災スケッチ：製糸工場跡	1945年	鉛筆、パステル、紙	19.5×27.2	前橋市立図書館
29	小見辰男	前橋戦災スケッチ：立川町妙安寺の西部広瀬川の右岸にて写す	1945年	鉛筆、水彩、紙	13.2×22.6	前橋市立図書館
30	小見辰男	前橋戦災スケッチ：立川町新昇ホール北側入口	1945年	鉛筆、紙	19.0×27.3	前橋市立図書館
31	小見辰男	前橋戦災スケッチ：片貝町五十嵐硝子店焼跡から前橋駅前方面を見る	1945年	鉛筆、水彩、紙	19.4×17.4	前橋市立図書館
32	小見辰男	前橋戦災スケッチ：田町から東電焼跡を通して堅町方面を見る	1945年	鉛筆、水彩、紙	19.4×27.0	前橋市立図書館
33	小見辰男	前橋戦災スケッチより第3号	1945年	油彩、紙	27.2×39.0	前橋市立図書館
34	—	前橋空襲の記憶 あたご歴史資料館と上州文化ラボの活動から見えてくる戦前と空襲後の前橋	—	—	—	企画展示協力：上州文化ラボ 展示協力：あたご歴史資料
35	—	前橋空襲の記憶 あたご歴史資料館からのメッセージ	2020年	映像	14分58秒	企画：村上雅紀 取材：福西敏宏 撮影：森田達行
36	—	生糸商標(チョップ) 複製	—	—	—	個人蔵
37	—	伝単	1964年	—	—	広瀬川美術館 中村ひろみ氏蔵
38	—	前橋戦災図（『戦災と復興』付録）	1964年	—	—	個人蔵
39	—	空襲で溶解したガラス	1945年	ガラス	—	前橋市文化財保護課
40	—	鈴木ひで 水彩画 一式	1985-2003年	鉛筆、水彩、紙	—	中之条町歴史と民俗の博物館「ミュゼ」
41	—	MAEBASHI,JAPAN 邦題：前橋の街並み風景その他	1945年	映像	6分20秒	米国立公文書館所蔵、昭和館提供 編集：田名網雅久
42	—	米国陸軍通信部隊の兵士 オブライエン撮影の地上写真 8点	1945年	スライドショー、写真8点	—	米国立公文書館所蔵 編集：田名網雅久
43	—	Destruction of Town, Maebashi, Japan邦題：前橋（日本）の爆撃の跡	1945年	映像	3分20秒	米国立公文書館所蔵、昭和館提供 編集：田名網雅久
44	—	米国陸軍通信部隊の兵士 グールド撮影の航空写真 8点	1945年	スライドショー、写真8点	—	米国立公文書館所蔵、 編集：田名網雅久
45	有村真鐵	明日	1992年	油彩、カンヴァス	149.0×228.0	アーツ前橋
46	金子英彦	表現の不自由展1967・8	1967年	アクリル、カンヴァス	53.0×45.5	アーツ前橋
47	金子英彦	「有罪？」ー赤瀬川原平千円札裁判	1967年	アクリル、カンヴァス	80.3×65.2	アーツ前橋
48	金子英彦	ガス瞬間湯沸器	1966年以前	アクリルグワッシュ、カンヴァス	128.0×128.0	アーツ前橋
49	金子英彦	セメント運搬車	1966年以前	アクリルグワッシュ、カンヴァス	128.0×128.0	アーツ前橋
50	金子英彦	EMPTYSACK CANNOT STAND ITSELF	1965年	アクリル、カンヴァス	162.0×130.3	アーツ前橋
51	白川昌生	想起の形	2004年	金具、布、丸棒、合板	可変	アーツ前橋
52	白川昌生	海景	1991年	型枠材	可変	作家蔵
53	白川昌生	驛家ノ木馬祭 コンセプトドローイング#1～#9	2011年	色鉛筆、コラージュ、紙	35.5×25.0 9点	作家蔵
54	白川昌生	驛家ノ木馬祭 寅次と母	2011年	色鉛筆、水彩、模造紙	143.0×247.0	作家蔵
55	白川昌生	驛家ノ木馬祭 明治18年 街の風景	2011年	色鉛筆、水彩、模造紙	210.0×250.0	作家蔵
56	藤井光	DADADA	2014年	映像	4分58秒	—
57	中村一美	死を悼みて緑の荒蕪地に立つ者	2004年	油彩、カンヴァス	163.0×129.5	寄託
58	中村一美	開花	1985年	油彩、カンヴァス	189.6×102.4	寄託
59	加藤アキラ	The Shopping 1	1968年	アルミニウム、油彩、ワイヤーブラシ、塩化ビニール板	200.0×100.2×8.5	寄託
60	加藤アキラ	EA-28	1960年代	アルミ、ラッカー、油彩、アルミ、塩化ビニール板	91.0×91.0×9.8	アーツ前橋
61	加藤アキラ	Space Compression No.3	1969年	アルミニウム	162.0×121.0	アーツ前橋
62	加藤アキラ	青の中の目	1965年	油彩、カンヴァス	162.3×130.3	アーツ前橋
63	関根伸夫	大地との対話	1988年	金箔、厚紙	58.0×50.5	寄託
64	菅木志雄	作品名不詳	不詳	チョーク、鋲、サンドペーパー	79.0×67.7	寄託
65	菅木志雄	境図集路	1996年	鉛筆、アクリル、石、木板	80.0×58.5×6.5	寄託
66	河口龍夫	関係ー種子	1987年	鉛、種子（青帝チンゲンサイ）	20.3×14.5	寄託
67	河口龍夫	関係ー質	1982年	液体、銅板、カンヴァス	58.3×44.9	寄託
68	河口龍夫	相関	1963年	銅版画（エッチング）	10.5×14.5	作家蔵
69	河口龍夫	命の時間	1963年	銅版画（エッチング）	15.9×10.6	作家蔵
70	河口龍夫	消去された時間	1963年	銅版画（エッチング）	20.0×36.0	作家蔵

NO.	作家名	作品名	制作年	技法・材質・その他	寸法（縦×横：cm）	所蔵
71	河口龍夫	萌芽	1963年	銅版画（エッチング）	27.7×36.4	作家蔵
72	河口龍夫	発生	1963年	銅版画（ドライポイント）	12.0×16.8	作家蔵
73	河口龍夫	闇に潜む浮遊物	1963年	銅版画（メゾチント）	10.6×14.4	作家蔵
74	河口龍夫	闇からの誕生	1963年	銅版画（メゾチント）	10.6×14.4	作家蔵
75	河口龍夫	曖昧なこと	1963年	銅版画（エッチング、ドライポイント、アクアチント）	36.0×19.9	作家蔵
76	河口龍夫	仮面	1963年	銅版画（エッチング）	36.0×19.9	作家蔵
77	河口龍夫	人	1963年	銅版画（エッチング）	24.5×13.5	作家蔵
78	長重之	視床Xb	1981年	アクリル、油彩、木、カンヴァス	112.0×140.0×5.0	アーツ前橋
79	草間彌生	無限の網（BAQ）	1989年	アクリル、カンヴァス	165.5×133.5	寄託
80	草間彌生	水玉（ZQB）	1989年	アクリル、カンヴァス	165.0×133.5	寄託
81	草間彌生	花園	1988年	ミクストメディア	34.0×21.0×15.0	寄託
82	草間彌生	野菜籠	1988年	ミクストメディア	14.0×32.0×35.0	寄託
83	草間彌生	A Morning of Summer	1986年	ミクストメディア	57.0×30.0×17.0	寄託
84	草間彌生	ハイヒール	1983年	ミクストメディア	右27.0×21.0×8.0 左28.0×20.0×8.0	寄託
85	草間彌生	ハンドバッグ	1983年	ミクストメディア	28.0×30.0×17.0	寄託
86	照屋勇賢	自分にできることをする	2011年	新聞紙、針金	105.0×177.5×87.5	アーツ前橋
87	ペ・ヨンファン	福島のため息	2012年	シングルチャンネルビデオ、インクジェットプリント	—	アーツ前橋
88	ペ・ヨンファン	オブジェクト／福島のため息1	2012年	福島で見つけた木片、ギターの部品、パステル	100.0×36.5×10.5	寄託
89	ペ・ヨンファン	オブジェクト／福島のため息2	2012年	福島で見つけた木片、ギターの部品、パステル	57.0×19.5×7.0	寄託
90	イルワン・アーメット&ティタ・サリナ	苦痛への信仰	2017-2019年	シングルチャンネルビデオ	3分17秒	アーツ前橋

聴く—共鳴する世界

NO.	作家名	作品名	制作年	技法・材質・その他	寸法（縦×横：cm）	所蔵
1	野村誠	ピアノのための9つの小品「アーツ前橋」1 春の玉川上水	2013年	楽譜、音	1分34秒	作家蔵
2	野村誠	ピアノのための9つの小品「アーツ前橋」4 二人	2013年	楽譜、音	54秒	作家蔵
3	野村誠	ピアノのための9つの小品「アーツ前橋」5 晩夏静寂	2013年	楽譜、音	1分23秒	作家蔵
4	野村誠	ピアノのための9つの小品「アーツ前橋」9 タンプル区の老婆	2013年 1995年	楽譜、音 カンヴァスに油彩	35秒 91.3×117.0	作家蔵 アーツ前橋蔵
5	倉田角次	春の玉川上水				
6	清水刀根	二人	不詳	カンヴァスに油彩	60.6×50.2	アーツ前橋蔵
7	福田貂太郎	晩夏静寂	1961年	カンヴァスに油彩	91.1×73.3	アーツ前橋蔵
8	近藤嘉男	タンプル区の老婆	1965年	カンヴァスに油彩	52.7×45.5	アーツ前橋蔵
9	小森はるか＋瀬尾夏美	砂粒をひろうーKさんの話していたこととさみしさについて	2013年	ヴィデオ	23分	作家蔵
10	小森はるか＋瀬尾夏美	波のした、土のうえ	2014年	ヴィデオ	68分	作家蔵
11	小森はるか＋瀬尾夏美	二重のまち／声の辿り	2017年	ヴィデオ	19分	作家蔵
12	小森はるか＋瀬尾夏美	飛来の眼には	2020年	テキスト、冊子、ヴィデオ、手記	可変（映像1：5分、映像2～4：各4分）	作家蔵（手記のみ個人蔵）
13	ワン・ホンカイ	ボロム（風）	2020年	マルチメディア	可変	作家蔵
14	恩田晃	静まりかえった庭ーイースト・ビレッジのコミュニティー・ガーデン、パンデミックの時分	2020年	フィールドレコーディング、ヴィデオ、アーカイバル・ピグメント・プリント、昇華転写プリント 、テキスト、地図	可変	作家蔵
15	恩田晃	コラージュ・オン・カセット	2020年	スティッカー、ポスター、テキスト、壊れたポータブル・カセットレコーダー	可変	作家蔵
16	アンジェリカ・メシティ	母国語	2017年	2チャンネルHDカラービデオインスタレーション、カラー、サラウンドサウンド	17分54秒	作家蔵
17	スン・テウ	more than day（一日よりも長く）	2020年	サウンド	3分38秒	作家蔵
18	奥村雄樹	彼方の男	2019年	マリア・ブルームとミシェル・クラウラとヘルマン・ダレッドとミシェル・ディディエールとルディ・フックスとイヴ・ヘヴァルトとカスパー・ケーニッヒとジャン＝ユベール・マルタンとフィリップ・ファン・デン・ボッシュのインタビューを記録した映像の断片によるシークエンス／HDヴィデオ	116分15秒	作家蔵
19	想田和弘	精神0	2020年	ドキュメンタリー、DCP	128分	東風（配給）
20	坂上香	プリズン・サークル	2019年	ドキュメンタリー、DCP	136分	東風（配給）

関連記事

関連記事

新　聞

掲載日	掲載紙	記事名	ページ数	関連事業名
2020/ 5/ 1	朝日ぐんま	絵画、彫刻、版画…自宅で美術鑑賞　館林美・近代美・大川美・アーツ前橋	3	アーツ前橋全般
2020/ 5/19	上毛新聞	【ミュージアム探検隊】アートで地域交流	20	アーツ前橋全般
2020/ 5/22	上毛新聞	レモン3.3万個 地球の色表現 アーツ前橋で廣瀬さん個展	21	廣瀬智央展
2020/ 5/29	読売新聞	レモン畑の感動再現	21	廣瀬智央展
2020/ 6/12	朝日ぐんま	廣瀬さんアーツ前橋で大規模個展 レモン3万個の香り漂う空間へ	1	廣瀬智央展
2020/ 6/14	毎日新聞	【アートの地平から】どんな過去を残すのか 住友文彦	21	廣瀬智央展
2020/ 6/16	上毛新聞	空間に日常潜む美 廣瀬智央さん個展 香りや手触りも表現に	10	廣瀬智央展
2020/ 6/16	朝日新聞 夕刊	見えないもの この場で感じて 美術家・廣瀬智央 前橋で大規模個展	3	廣瀬智央展
2020/ 6/17	東京新聞	3万個のレモン 視覚と嗅覚で 廣瀬さん作品展 多彩な表現90点	24	廣瀬智央展
2020/ 6/18	上毛新聞	【ぱれっと】6月19日(金)～22日(月)何しよ！ 廣瀬智央 地球はレモンのように青い	6	廣瀬智央展
2020/ 6/24	毎日新聞 夕刊	【評 展覧会】廣瀬智央 地球はレモンのように青い 重ねた時間の先に	4	廣瀬智央展
2020/ 7/ 9	読売新聞	異質なもの同士「共存」問う 前橋で再始動 廣瀬智央さん個展	20	廣瀬智央展
2020/ 7/10	上毛新聞	アートの過去と現在 アーツ前橋 廣瀬さん対談動画2本	18	廣瀬智央展
2020/ 7/10	東京新聞 夕刊	【美術評】生命の痕跡浮かび上がらせる 廣瀬智央個展「地球はレモンのように青い」	3	廣瀬智央展
2020/ 7/12	産経新聞	廣瀬智央「地球はレモンのように青い」展 「生の喜び」鮮やか	11	廣瀬智央展
2020/ 7/18	読売新聞	五感の大切さを実感	25	アーツ前橋全般
2020/ 9/ 6	日本経済新聞	Beautiful Books 「Satoshi Hirose」廣瀬智央著	17	廣瀬智央展
2020/ 9/ 8	上毛新聞	社会を反映する「衣」	9	糸の記憶展
2020/ 9/18	朝日ぐんま	文化紀行「糸の記憶 アーツ前橋所蔵作品から」	3	糸の記憶展
2020/10/21	上毛新聞	レモン皮で再生紙作り	16	廣瀬智央展
2020/10/27	上毛新聞	コロナ退散祈り 大小四つの木馬	21	駅家の木馬
2020/11/ 7	上毛新聞	アーツ前橋 2作家の6作品紛失 高崎出身遺族所有 書や版画	19	アーツ前橋全般
2020/11/ 8	朝日新聞	アーツ前橋 6作品紛失 廃校空き教室で保管	23	アーツ前橋全般
2020/11/10	上毛新聞	アーツ前橋、作品紛失を正式公表 再発防止へマニュアル	23	アーツ前橋全般
2020/11/10	東京新聞	前橋市 2作家の6作品紛失 把握直後公表せず 16年にも紛失発覚	－	アーツ前橋全般
2020/11/10	毎日新聞	前橋市の美術館、作品紛失		アーツ前橋全般
2020/11/10	毎日新聞	アーツ前橋6作品紛失 廃校で保管 木版画と書、誤廃棄か	－	アーツ前橋全般
2020/11/10	読売新聞	木版画など6作品紛失 前橋市 美術館収蔵へ保管中	31	アーツ前橋全般
2020/11/14	産経新聞	木版画など紛失 前橋市長が謝罪「再発防止対策努める」	－	アーツ前橋全般
2020/11/16	読売新聞	場所をテーマにスケッチや写真	27	場所の記憶
2020/11/16	東京新聞	「所有者に対し大変申し訳ない」2作家の6作品紛失で山本・前橋市長が陳謝	－	アーツ前橋全般
2020/11/29	上毛新聞	「場所」テーマに50点 3月までアーツ前橋で企画展	17	場所の記憶
2020/12/ 4	上毛新聞	アーツ前橋作品紛失 市が調査会立ち上げ	20	アーツ前橋全般
2020/12/13	毎日新聞	【アートの地平から】繋がりと断絶 切り取る 住友文彦	11	館長
2020/12/21	読売新聞	展覧会情報(首都圏版夕刊シティライフ紙面)		聴く－共鳴する世界展
2020/12/28	上毛新聞	音で土地の歴史共鳴 アーツ前橋で企画展	14	聴く－共鳴する世界展
2020/12/29	上毛新聞	ネット“展示”広がる	6	廣瀬智央展
2021/ 1/ 7	上毛新聞	展示、鑑賞に新たな形 魅力発信へ戦略不可欠	1	聴く－共鳴する世界展
2021/ 1/ 8	朝日ぐんま	【文化紀行】「聴く－共鳴する世界」展	3	聴く－共鳴する世界展
2021/ 1/29	上毛新聞	レモンの再生紙で商品	18	廣瀬智央展
2021/ 1/30	桐生タイムス	3万個のレモン“再生” せっけんなどに製品化	1	廣瀬智央展
2021/ 2/14	毎日新聞	【アートの地平から】記憶に耳を傾ける 住友文彦	19	聴く－共鳴する世界展
2021/ 2/25	上毛新聞	アーツ前橋を休館　作品紛失で収蔵品を総点検	21	アーツ前橋全般
2021/ 2/27	朝日新聞	アーツ前橋 一時休館へ	28	アーツ前橋全般
2021/ 3/16	上毛新聞	記憶訴える絵 語り合い鑑賞	9	アーツナビゲーター
2021/ 3/16	上毛新聞	作品売却代210万円 難民施設に寄付	18	アーツ前橋全般
2021/ 3/17	毎日新聞	外国人らゲストにネットラジオ配信	23	ラジオプロジェクト
2021/ 3/17	東京新聞	空襲の爪痕振り返る 映像、写真など80点展示	22	場所の記憶
2021/ 3/18	上毛新聞	【ぱれっと】「聴く－共鳴する世界」展関連イベント上映プログラム	8	聴く－共鳴する世界展
2021/ 3/25	上毛新聞	アーツ前橋作品紛失 リスト偽装 画策か	23	アーツ前橋全般
2021/ 3/25	東京新聞	館長ら隠蔽を検討 アーツ前橋作品紛失 調査委が報告書		アーツ前橋全般
2021/ 3/25	読売新聞	作品紛失で調査報告書	31	アーツ前橋全般
2021/ 3/25	毎日新聞	館長ら隠蔽工作検討 「アーツ前橋」作品紛失問題		アーツ前橋全般
2021/ 3/25	朝日新聞	アーツ前橋6作品紛失 館長ら隠蔽検討か		アーツ前橋全般
2021/ 3/26	読売新聞	作品紛失 報告書を批判	31	アーツ前橋全般
2021/ 3/26	朝日新聞	「隠蔽ない」館長反論		アーツ前橋全般
2021/ 3/26	毎日新聞	アーツ前橋 館長「隠蔽なかった」		アーツ前橋全般
2021/ 3/26	上毛新聞	アーツ前橋作品紛失 館長 偽装画策を否定	23	アーツ前橋全般

雑誌・冊子

掲載日	掲載紙	記事名	ページ数	関連事業名
2020/ 4/25	ぶらぶら美術・博物館プレミアムアートブック2020-2021	最高の"映え"美術・博物館50	73	アーツ前橋全般
2020/ 5/12	クルーエル CLUEL	BOOK&ART&MUSIC	119	廣瀬智央展
2020/ 5/12	ファッジ FUDGE	DROW IN ART	156	廣瀬智央展
2020/ 5/12	GINZA	5月エンタメの新作レビュー	136	廣瀬智央展
2020/ 5/20	Figaro japon	今月おすすめの映画・アート・本・音楽・舞台	97	廣瀬智央展
2020/ 6/19	タウンぐんま TownG	【Event Information】廣瀬智央 地球はレモンのように青い	2	廣瀬智央展
2020/ 6/19	タウンぐんま TownG	廣瀬智央 地球はレモンのように青い	2	廣瀬智央展
2020/ 6/27	hanako	hanako EAT issue67	125	廣瀬智央展
2020/ 7/ 1	YAMATO NEWS vol.1143	【展覧会情報】廣瀬智央 地球はレモンのように青い	6	廣瀬智央展
2020/ 7/ 1	いけ花　龍生 7月号	【「間」の庭】廣瀬智央 地球はレモンのように青い	26	廣瀬智央展
2020/ 7/12	HERS	美術ジャーナリスト・鈴木芳雄の現代アートナナメ読み	167	廣瀬智央展
2020/ 8/21	散歩の達人	前橋アート&カルチャーさんぽ	79	アーツ前橋全般
2020/10/12	HERS	廣瀬智央さん 食材がアートになった理由	86	廣瀬智央展
2020/11/20	コトノネ	美術館に引きこもろう	12	表現の森
2020/11/20	美術の窓 1月号 No.448	展覧会紹介	86	聴く−共鳴する世界展
2021/ 1 /8	美術屋 百兵衛 2月号	聴く－共鳴する世界展	35	聴く−共鳴する世界展
2021/ 2/25	men's FUDGE	聞こえているはずなのに意識に上がらないもの『聴く－共鳴する世界』	143	聴く−共鳴する世界展
2021/ 3/30	octane	アートと建築を巡るハイモードなドライブ	79	アーツ前橋全般

ウェブサイト

掲載日	掲載サイト	記事名	関連事業名
2020/ 6/24	毎日新聞web	展覧会 廣瀬智央 地球はレモンのように青い 重ねた時間の先に 評・高橋咲子	廣瀬智央展
2020/ 6/27	産経ニュース	心と体を解きほぐす空間 廣瀬智央「地球はレモンのように青い」	廣瀬智央展
2020/ 6/27	auヘッドライン	心と体を解きほぐす空間 廣瀬智央「地球はレモンのように青い」	廣瀬智央展
2020/ 6/29	産経ニュース	【ぐんまアート散歩】五感揺さぶる「匂いの作品化」	廣瀬智央展
2020/11/ 9	NHK NEWS WEB	アーツ前橋 作品6点を紛失	アーツ前橋全般
2021/ 1/15	artscape	【キュレーターズノート】未知の出来事について耳を傾ける時間－「聴く－共鳴する世界」展	聴く−共鳴する世界展
2021/ 1/24	Walker+	聴く行為を通して世界に関わる、群馬県のアーツ前橋で「聴く－共鳴する世界」が開催中	聴く−共鳴する世界展
2021/ 1/24	ニコニコニュース	聴く行為を通して世界に関わる、群馬県のアーツ前橋で「聴く－共鳴する世界」が開催中	聴く−共鳴する世界展
2021/ 2/15	GO ON 轟音	【Exhibition】聴く－共鳴する世界、場所の記憶　想起する力	聴く−共鳴する世界展
2021/ 2/26	Web版美術手帖	借用作品紛失のアーツ前橋が所蔵品点検のため3か月の休館へ。紛失の経緯や総点検の内容とは？	アーツ前橋全般
2021/ 3/ 1	artscape	【オススメ展覧会】聴く－共鳴する世界	聴く−共鳴する世界展
2021/ 3/ 1	artscape Japan	【Here and There:】Giving Art Listen at Arts Maebashi	聴く−共鳴する世界展
2021/ 3/ 1	Web版美術手帖	アーツ前橋館長の住友文彦が退任へ。作品紛失問題との関連は？	アーツ前橋全般
2021/ 3/ 6	東京新聞Web	＜あの日から 東日本大震災10年＞被災者の証言を映像に 女性芸術家2人が制作 前橋市内で企画展	聴く−共鳴する世界展
2021/ 3/ 8	産経ニュース	【ぐんまアート散歩】10年の歩みに耳を澄ます「聴く－共鳴する世界」（アーツ前橋）	聴く−共鳴する世界展
2021/ 3/25	Web版美術手帖	アーツ前橋の作品紛失に関する調査報告書が公開。住友文彦館長は隠蔽を否定	アーツ前橋全般
2021/ 3/26	Web版美術手帖	紛失問題報告書に関して、アーツ前橋館長の住友文彦が反論。報告書内容と作成過程の問題を指摘	アーツ前橋全般

テレビ・ラジオ

掲載日	放送局	番組名	記事名	区分	関連事業名
2020/ 6/ 2	群馬テレビ	ニュースeye8	廣瀬智央展	テレビ	廣瀬智央展
2020/09/23	NHK	ほっと群馬630	糸の記憶展	テレビ	糸の記憶
2020/11/ 9	群馬テレビ	ニュースeye8	アーツ前橋 借用の６作品を紛失	テレビ	アーツ前橋全般
2020/11/ 9	NHK前橋放送局	ほっと群馬630	「アーツ前橋」で６作品を紛失	テレビ	アーツ前橋全般
2020/11/16	BS朝日	宇賀なつみのそこ教えて！	「博物館に行ってみよう！」	テレビ	表現の森
2020/12/15	FM GUNMA	POTLUCK	展覧会紹介	ラジオ	聴く−共鳴する世界展
2021/ 3/ 3	群馬テレビ	ニュースeye8	展示作品で使用のレモンを再利用 石鹸の販売開始	テレビ	廣瀬智央展
2021/ 3/26	群馬テレビ	ニュースeye8	アーツ前橋作品紛失 住友館長が反論「隠ぺいや嘘はない」	テレビ	アーツ前橋全般
2021/ 3/26	NHK	ほっと群馬630	アーツ前橋館長「隠蔽やうそなかった」作品紛失で	テレビ	アーツ前橋全般

アーツ前橋年報　No.8
2021年11月発行

発行者　アーツ前橋
〒371-0022　群馬県前橋市千代田町5-1-16
TEL　027-230-1144
MAIL　artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp
URL　https://artsmaebashi.jp

フォトクレジット
©KIGURE Shinya p.7、8、9、11、19、23（上）、24
©UEMATSU Takuma：p.17